

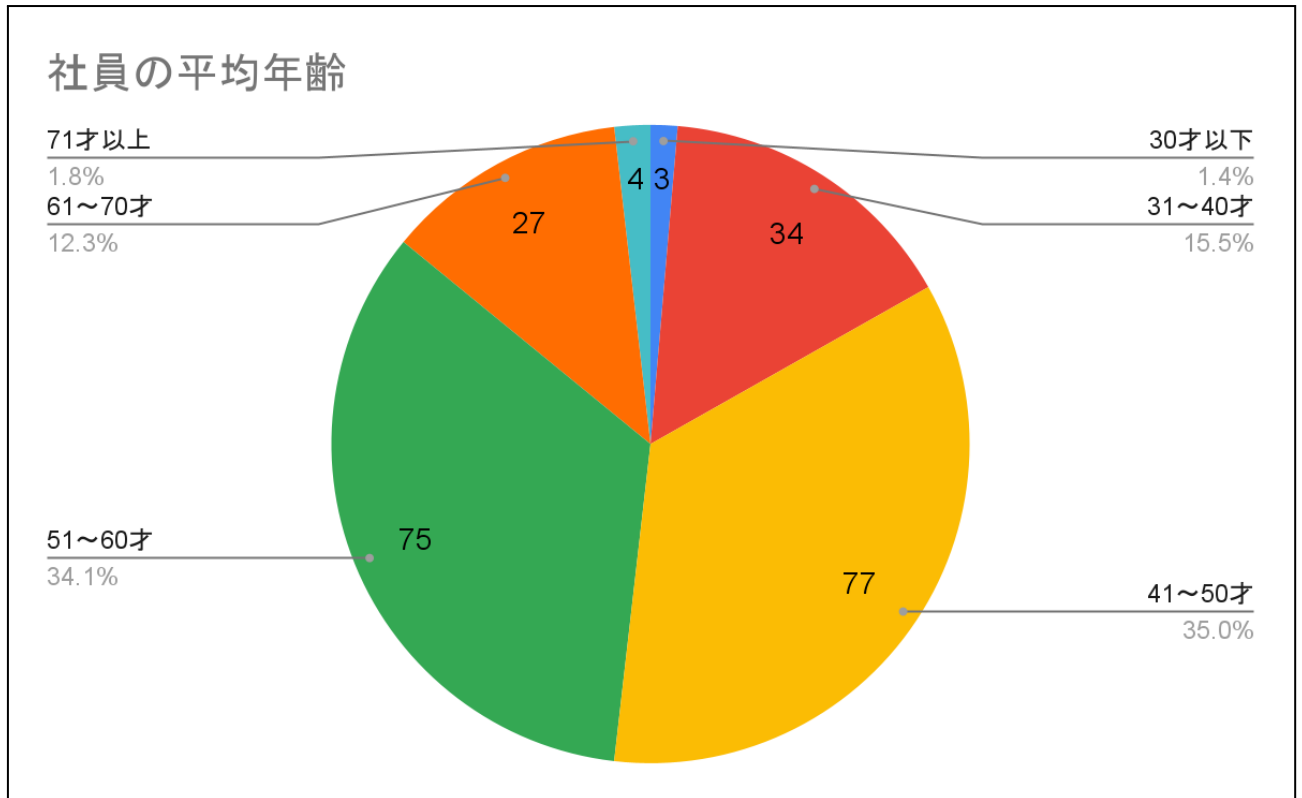
気仙沼商工会議所 人口減少対策委員会 雇用と人口減少対策に関するアンケート 調査結果

◇回答（集計）状況

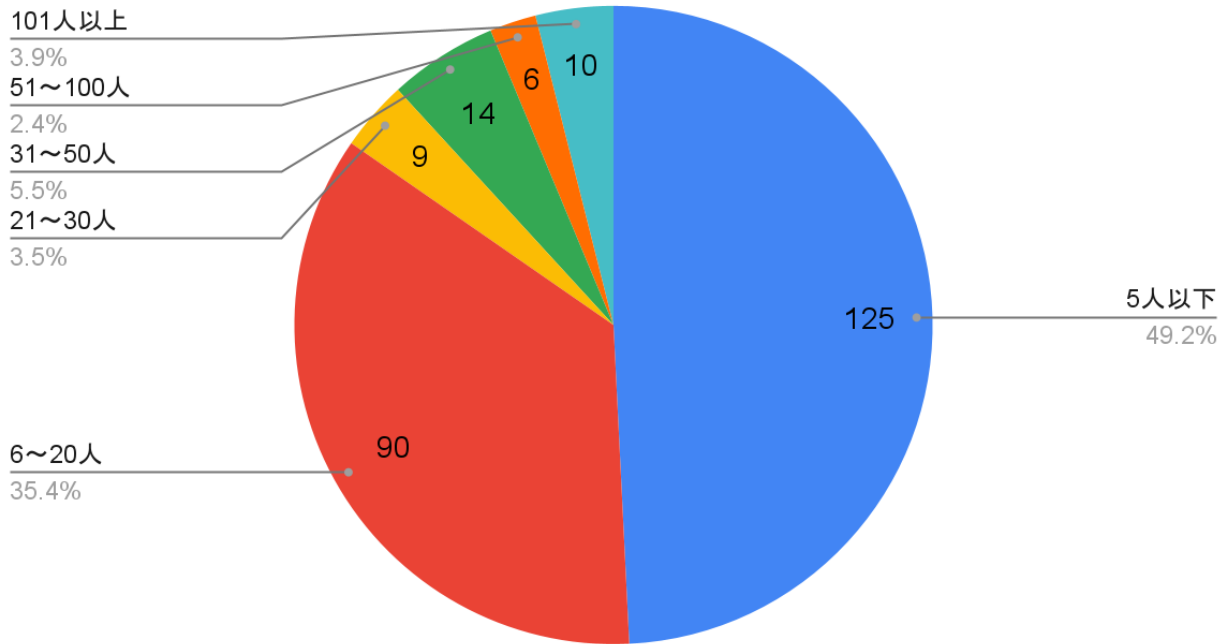
気仙沼商工会議所会員事業所1,238事業所のうち263事業所
(Web: 84、紙: 179) から回答があり、回収率は21.2%であった。

◇概要について

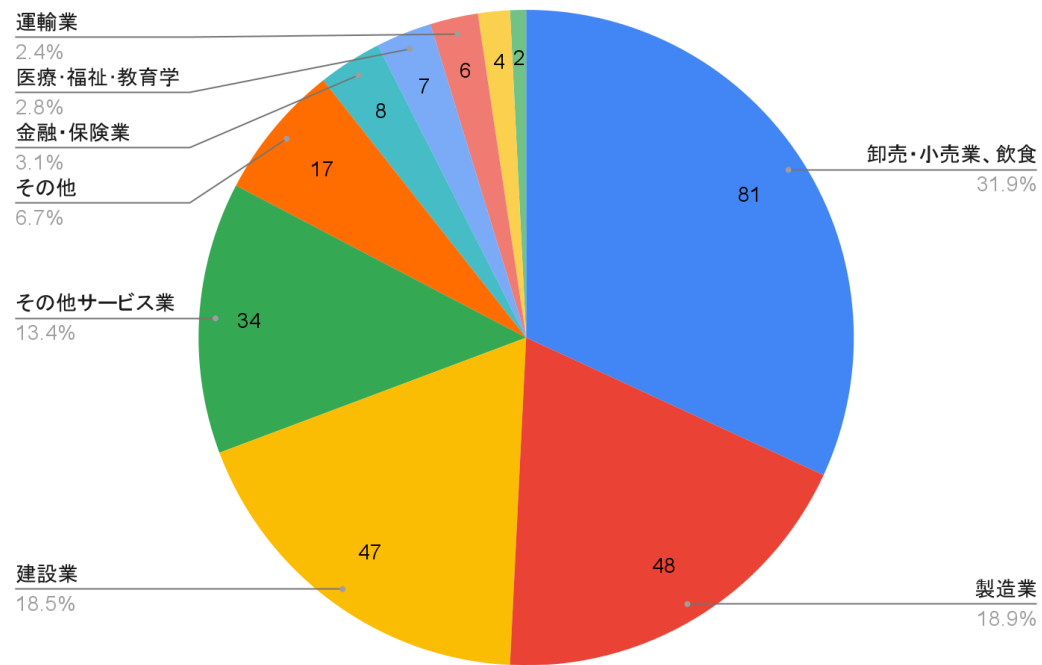
回答数 = 220

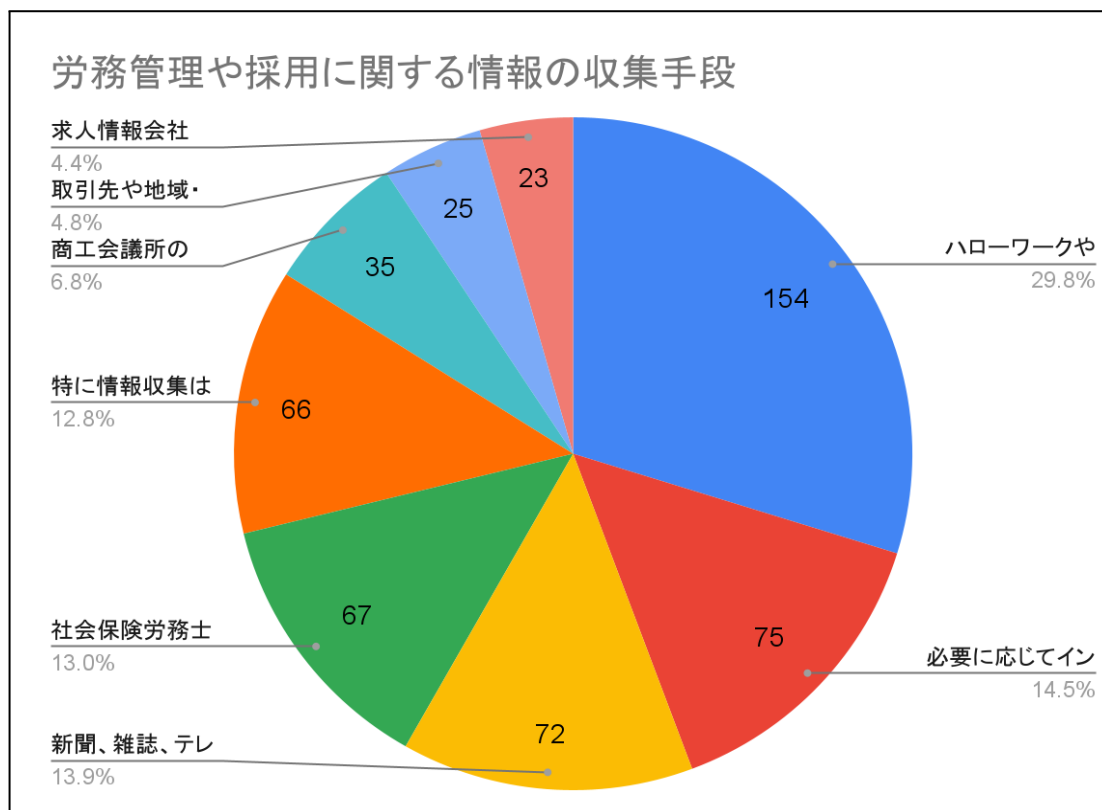


常用従業員数



産業分類





■ハローワークや労働基準監督署、気仙沼市などの公共機関や官公庁	■必要に応じてインターネットで調べている
■新聞、雑誌、テレビニュースなどのメディア	■社会保険労務士や税理士、弁護士
■特に情報収集は行ってない	■商工会議所のホームページ、パンフレット、経営指導員
■取引先や地域・業界の会合	■求人情報会社

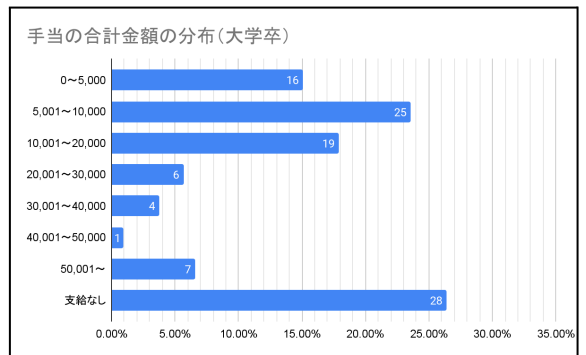
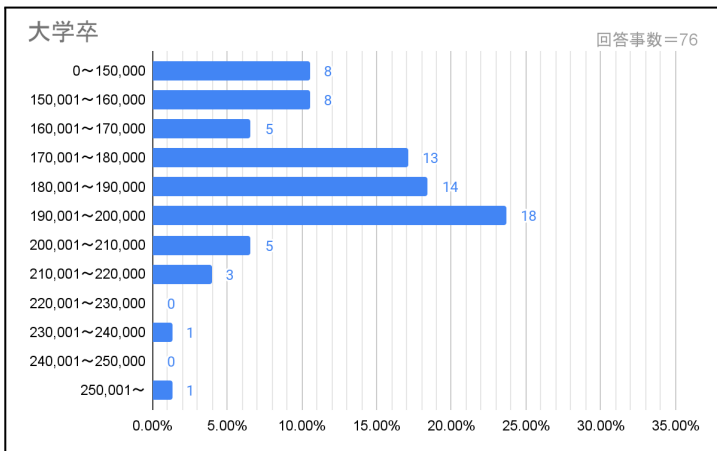
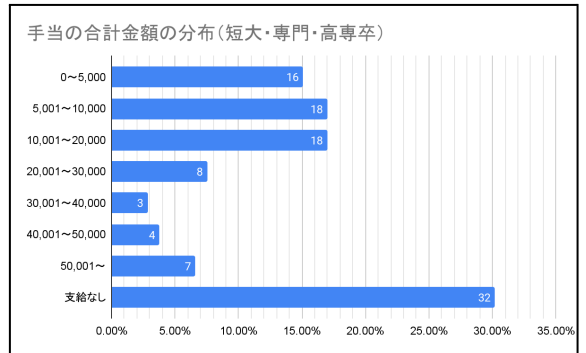
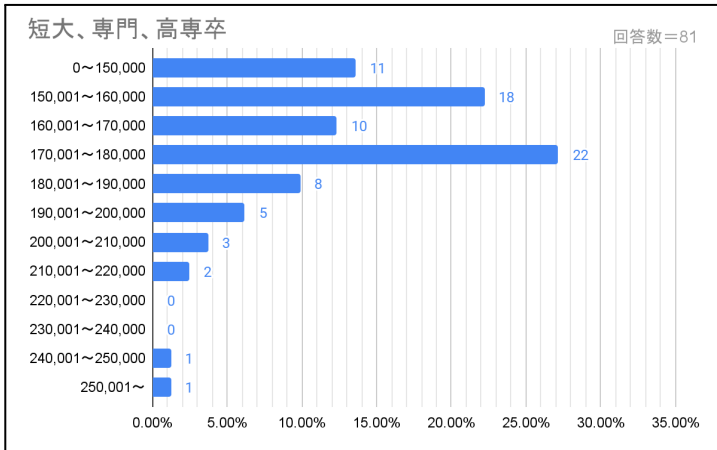
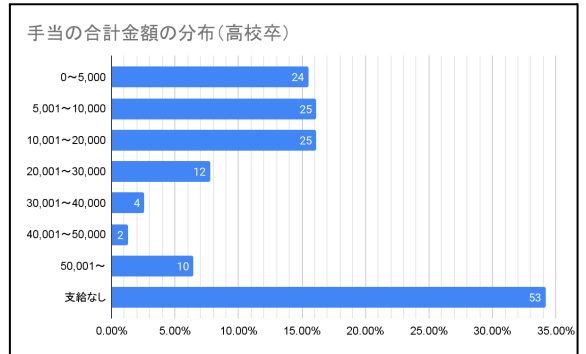
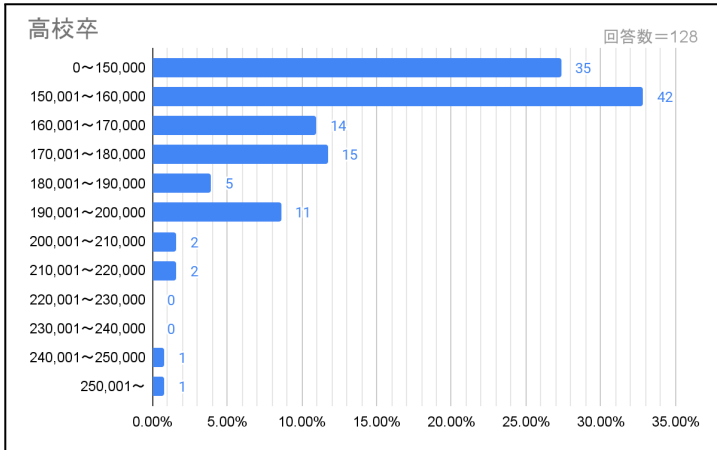
◇採用・雇用の状況について

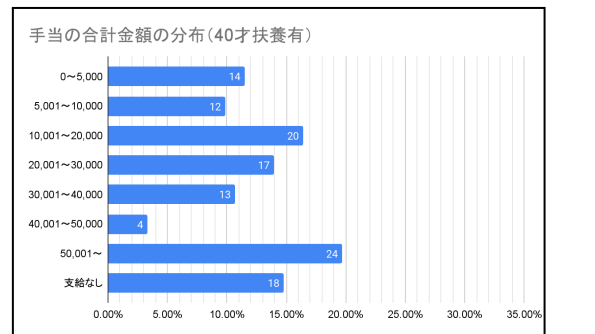
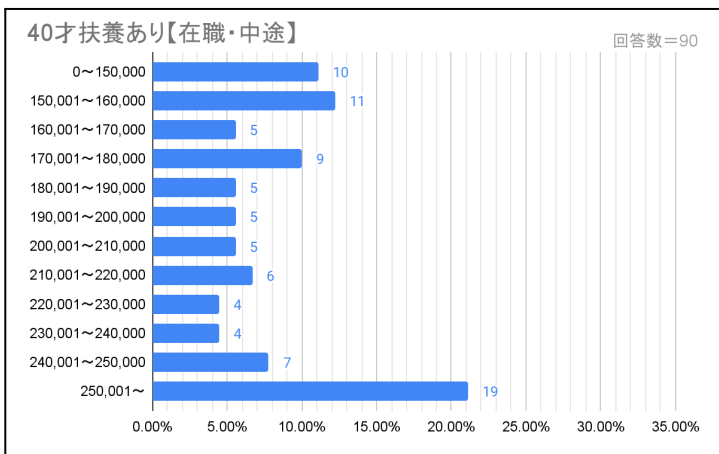
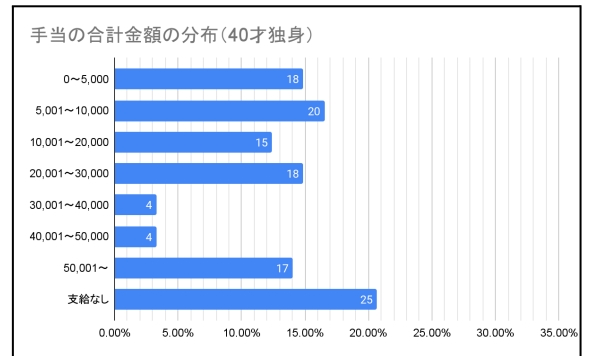
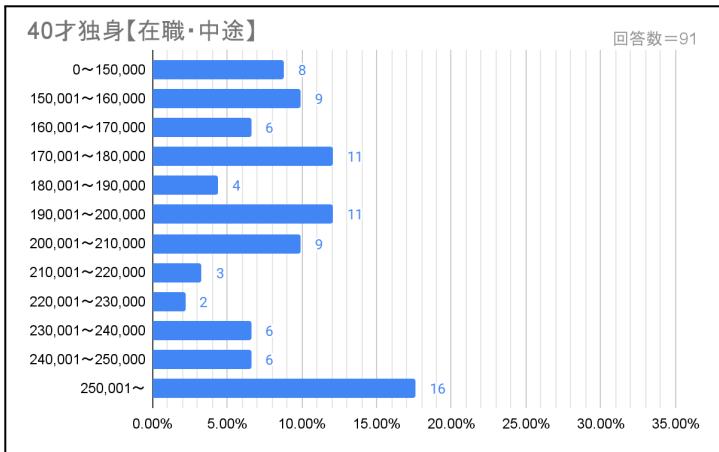
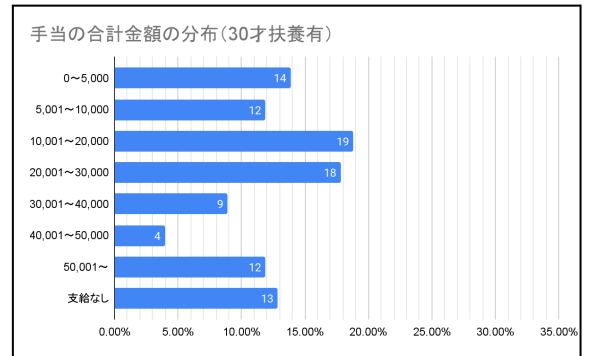
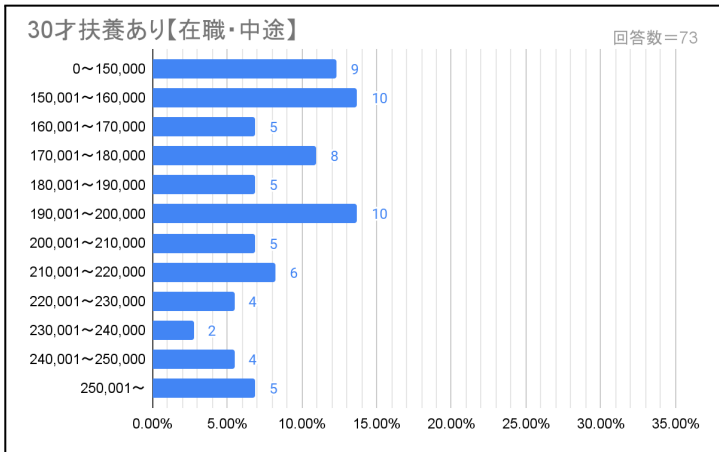
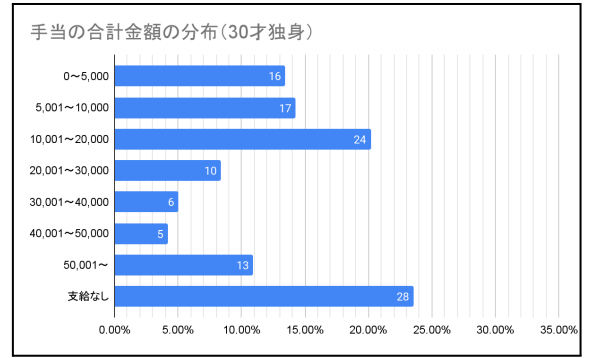
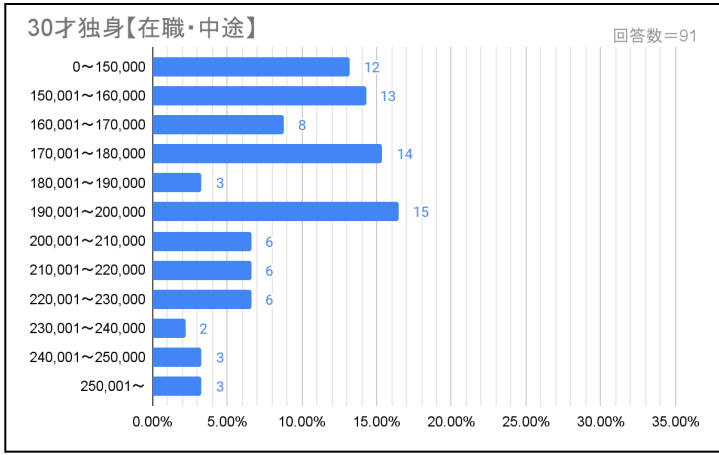
質問1.

(1) 貴社における正社員（常用労働者）の初任給・手当を記入してください。（最近の実績）

※ 最近の実績で採用がない場合は、採用する場合を想定した金額を記入してください。

○初任給・基本給・手当額





○支給手当（高校卒）

回答数 = 127

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
		1,000 ~	40,000
その他手当	50	1,000 ~	40,000
資格手当等	42	1,000 ~	100,000
家族系手当	24	1,000 ~	15,000
住宅手当	9	5,000 ~	30,000
地域手当	2	4,200 ~	5,000
支給なし	53		

※主なその他手当

皆勤手当	役職手当
職務手当	職能手当
着物手当	インフレ手当
精勤手当	車種手当

○支給手当（短大、専門、高専卒）

回答数 = 91

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
		1,000 ~	50,000
資格手当等	32	1,000 ~	50,000
その他手当	32	1,000 ~	45,000
家族系手当	16	1,000 ~	35,000
住宅手当	8	10,000 ~	30,000
地域手当	3	3,000 ~	5,000
支給なし	32		

※主なその他手当

皆勤手当	役職手当
職務手当	職能手当
着物手当	精勤手当

○支給手当（大学卒）

回答数 = 89

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
		1,000 ~	50,000
その他手当	31	1,000 ~	50,000
資格手当等	29	3,000 ~	60,000
家族系手当	17	1,000 ~	12,000
住宅手当	9	15,000 ~	30,000
地域手当	3	4,200 ~	5,000
支給なし	28		

※主なその他手当

皆勤手当	役職手当
職務手当	職能手当
着物手当	精勤手当

○支給手当（30才独身【在職・中途】）

回答数 = 111

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
その他手当	45	1,000	100,000
資格手当等	37	1,000	155,000
家族系手当	15	1,000	15,000
住宅手当	12	5,000	30,000
地域手当	2	4,200	5,000
支給なし	28		

※主なその他手当

皆勤手当	役職手当
インフレ手当	職能手当
着物手当	精勤手当

○支給手当（30才扶養あり【在職・中途】）

回答数 = 117

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
その他手当	38	1,000	56,000
資格手当等	34	1,000	155,000
家族系手当	33	1,000	30,000
住宅手当	9	5,000	30,000
地域手当	3	3,000	15,000
支給なし	13		

※主なその他手当

職務手当	職能手当
着物手当	精勤手当

○支給手当（40才独身【在職・中途】）

回答数 = 108

※支給金額（円）

	事業所数	支給額	
その他手当	44	4,000	120,000
資格手当等	41	1,000	175,000
家族系手当	12	1,000	15,000
住宅手当	9	1,500	30,000
地域手当	2	4,200	5,000
支給なし	25		

※主なその他手当

皆勤手当	役職手当
職務手当	職能手当
着物手当	精勤手当

○支給手当（40才扶養あり【在職・中途】）

回答数 = 141

※支給金額（円）

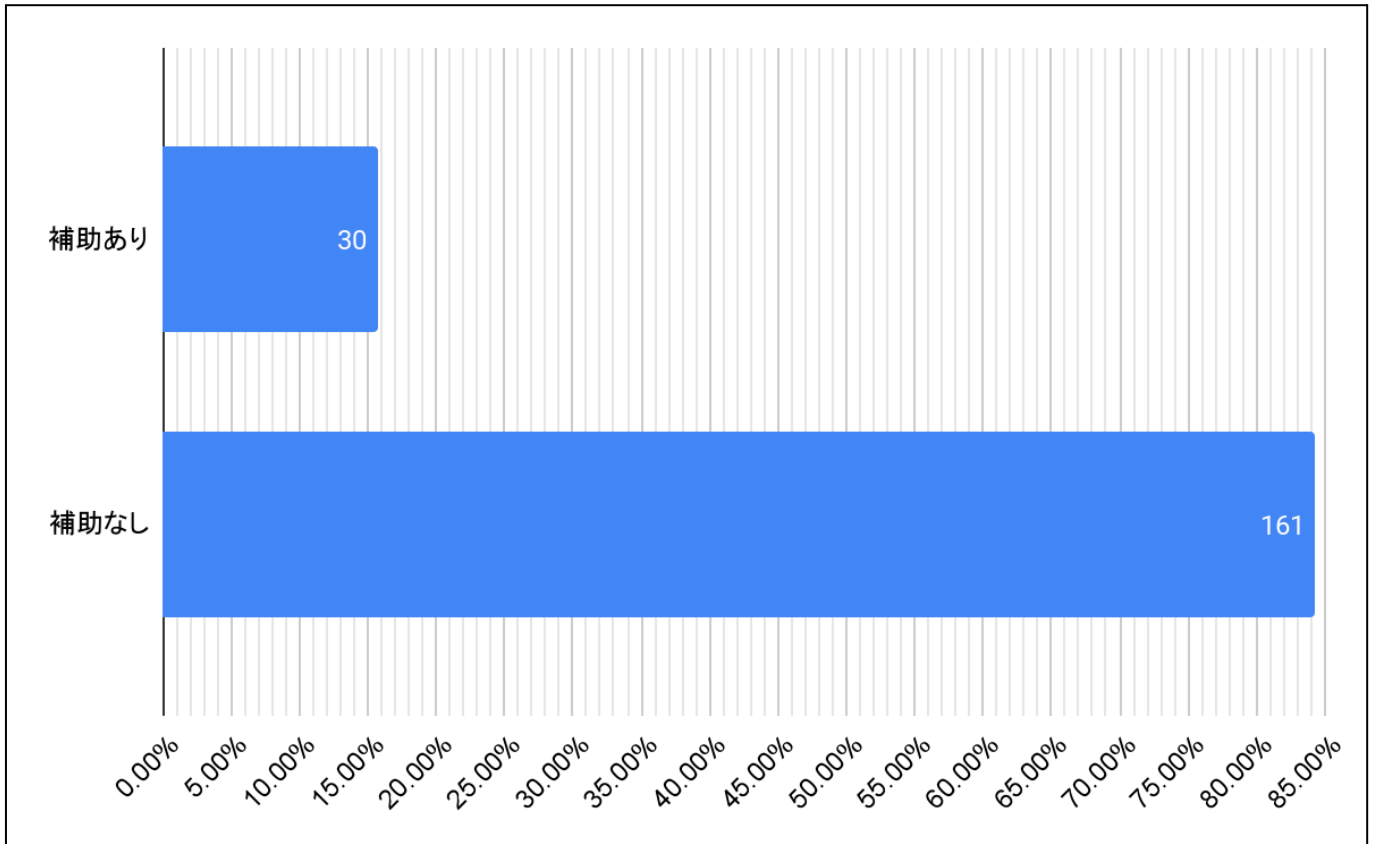
	事業所数	支給額	
その他手当	48	2,100	120,000
資格手当等	43	2,000	175,000
家族系手当	38	1,000	28,000
住宅手当	9	1,500	30,000
地域手当	3	4,200	15,000
支給なし	18		

※主なその他手当

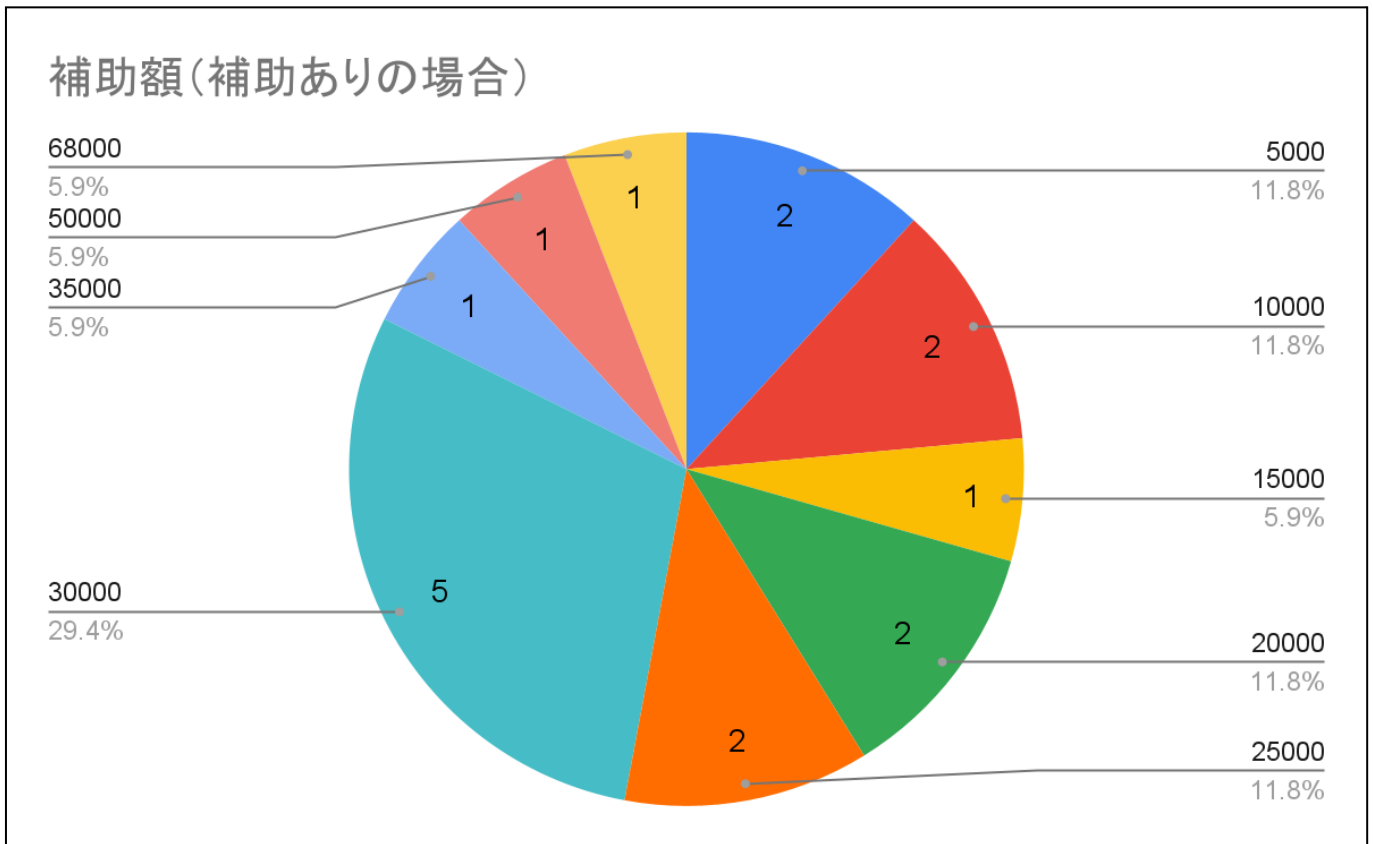
皆勤手当	役職手当
職務手当	職能手当
着物手当	精勤手当

(3) 貴社で市外出身者を採用する場合（I・Jターン）に住宅補助をしていますか。

回答数 = 191

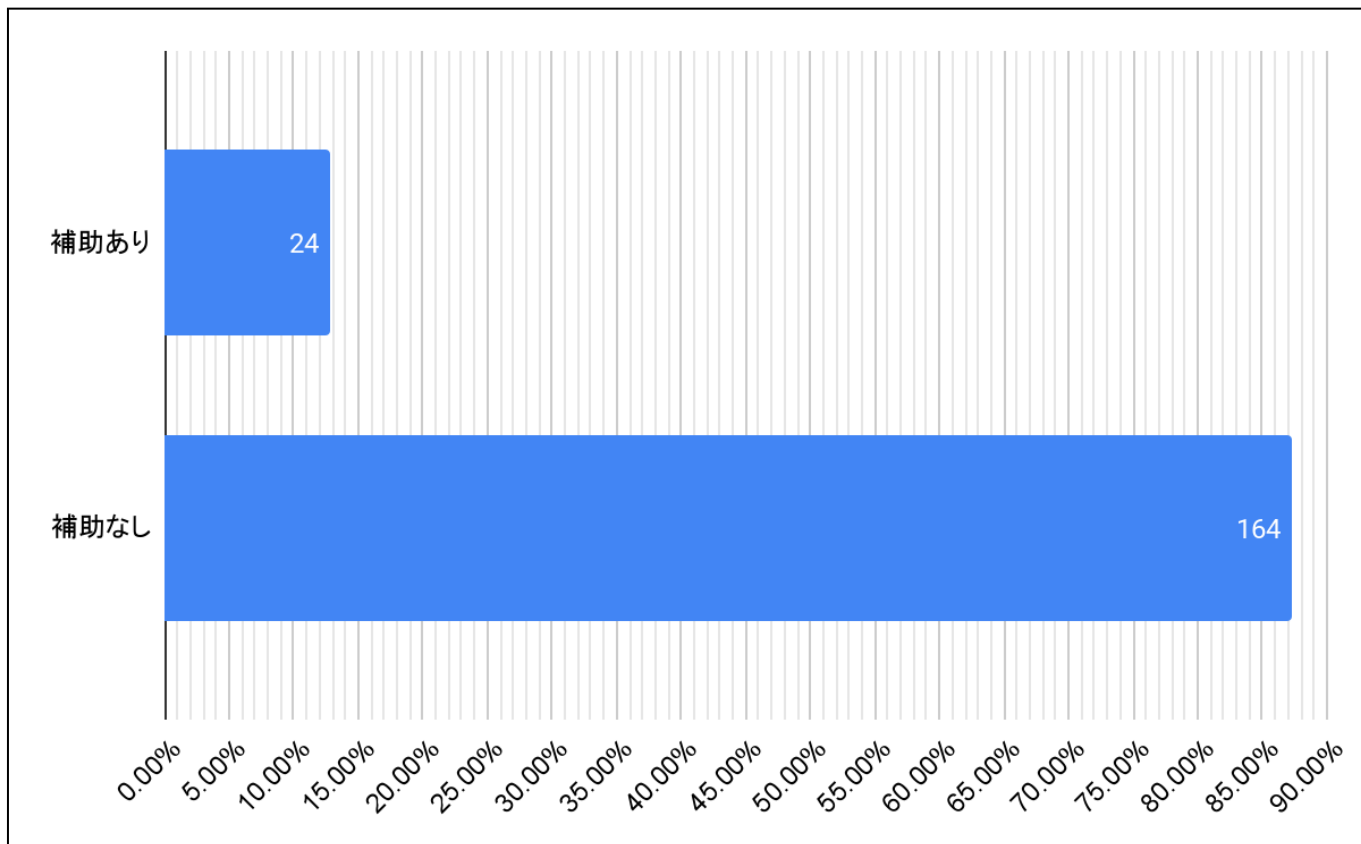


回答数 = 17

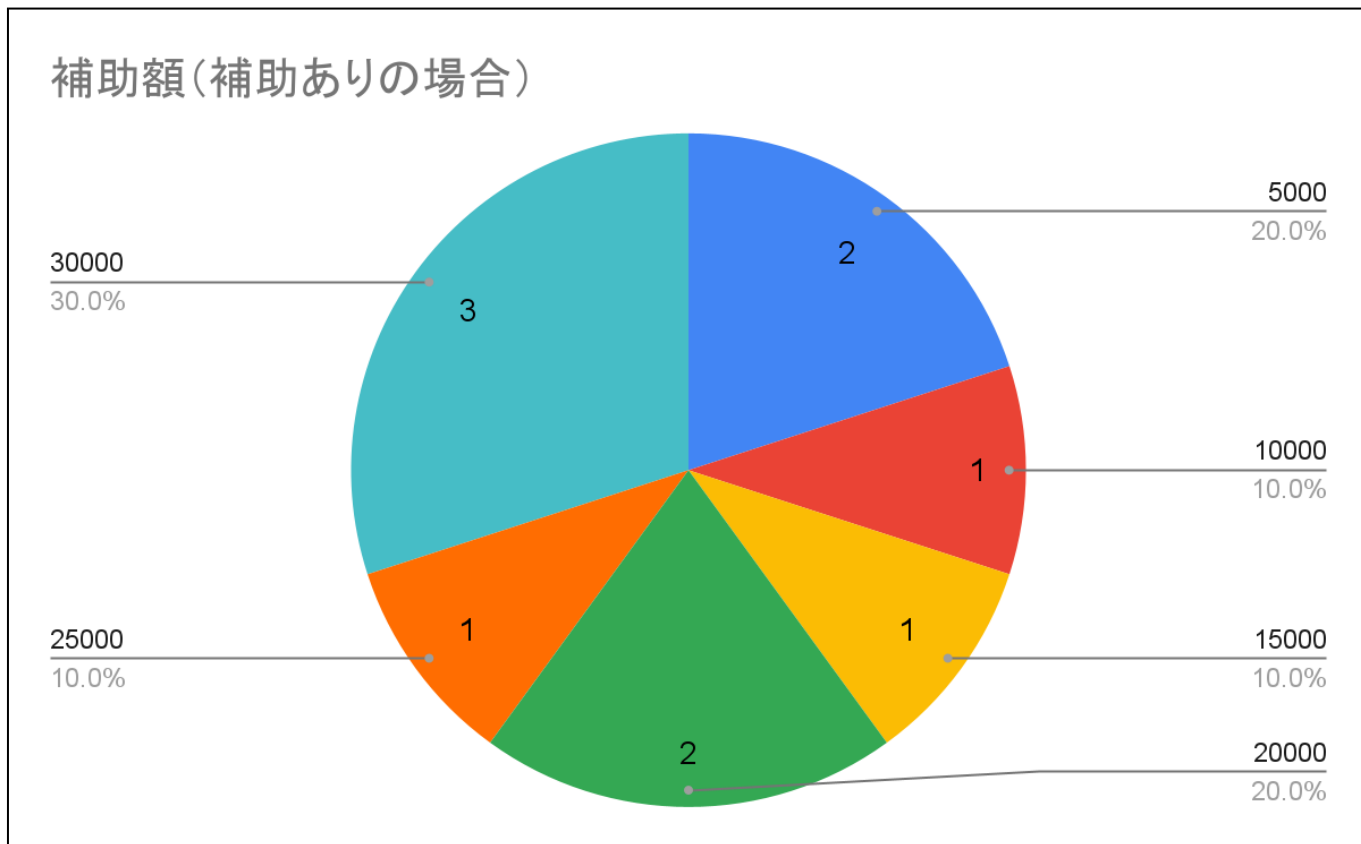


(4) 貴社で市内出身者を採用する場合（Uターン）、市内のアパートに住む場合に住宅補助をしていますか。

回答数 = 188

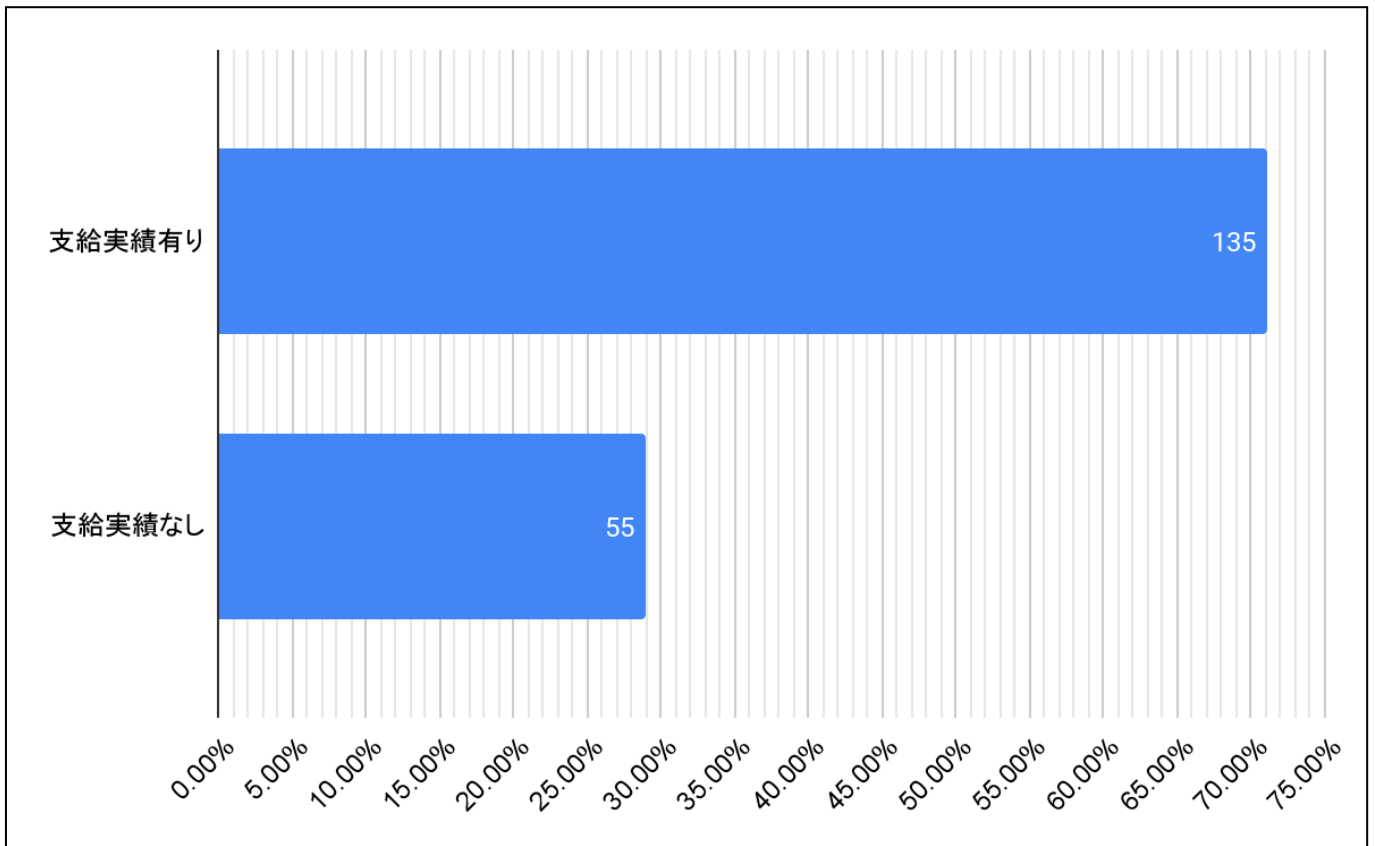


回答数 = 10

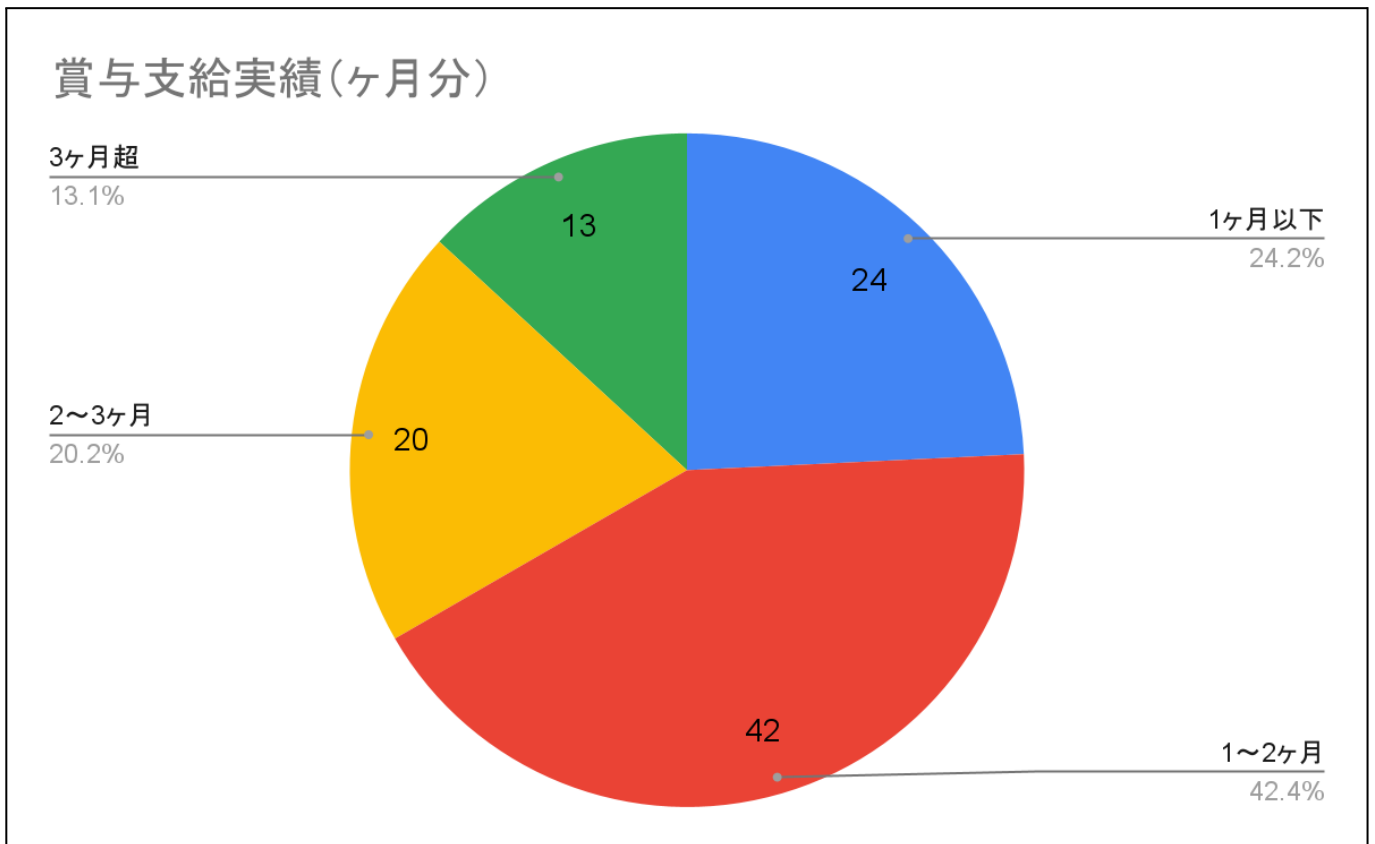


(5) 貴社の昨年度の賞与の支給実績について、差し支えなければ記入してください。

回答数 = 190

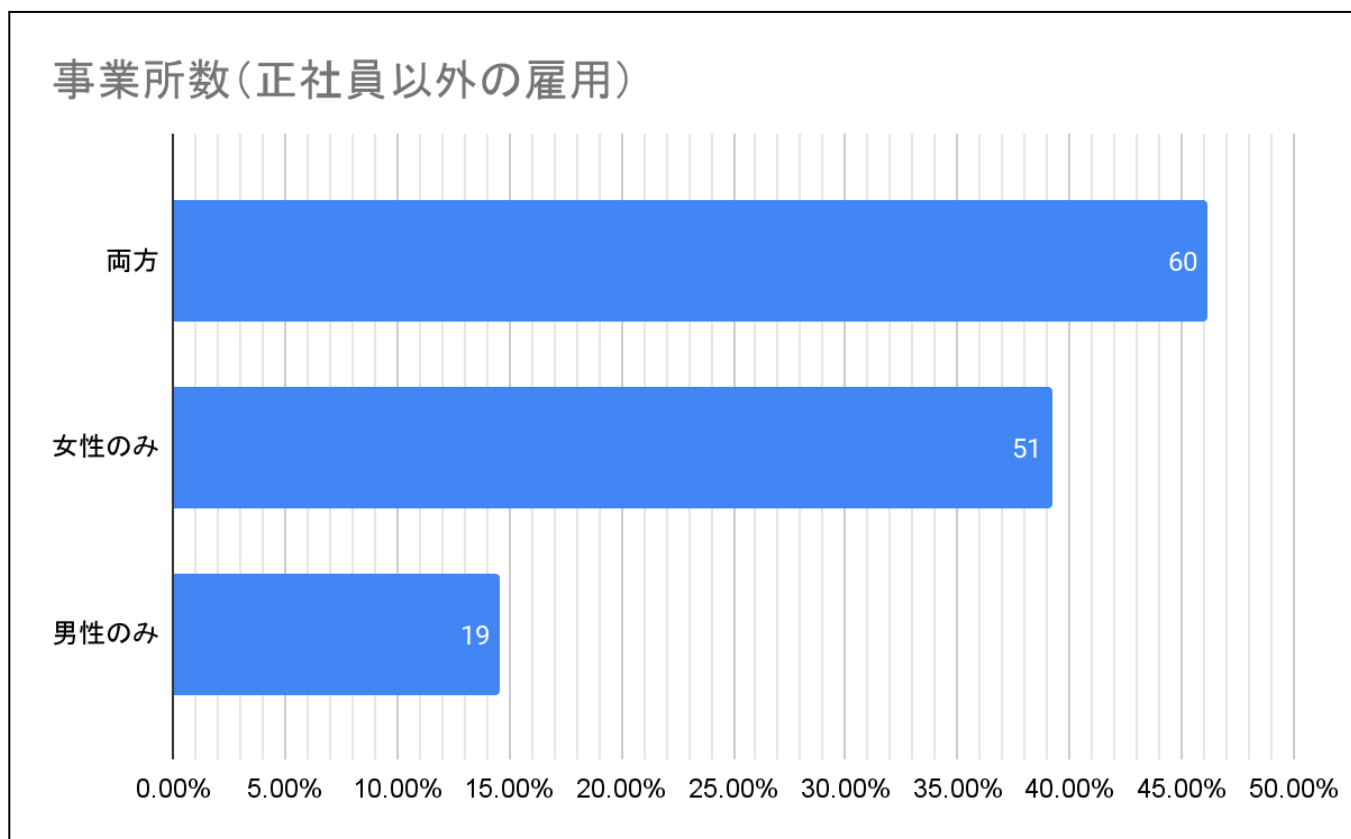
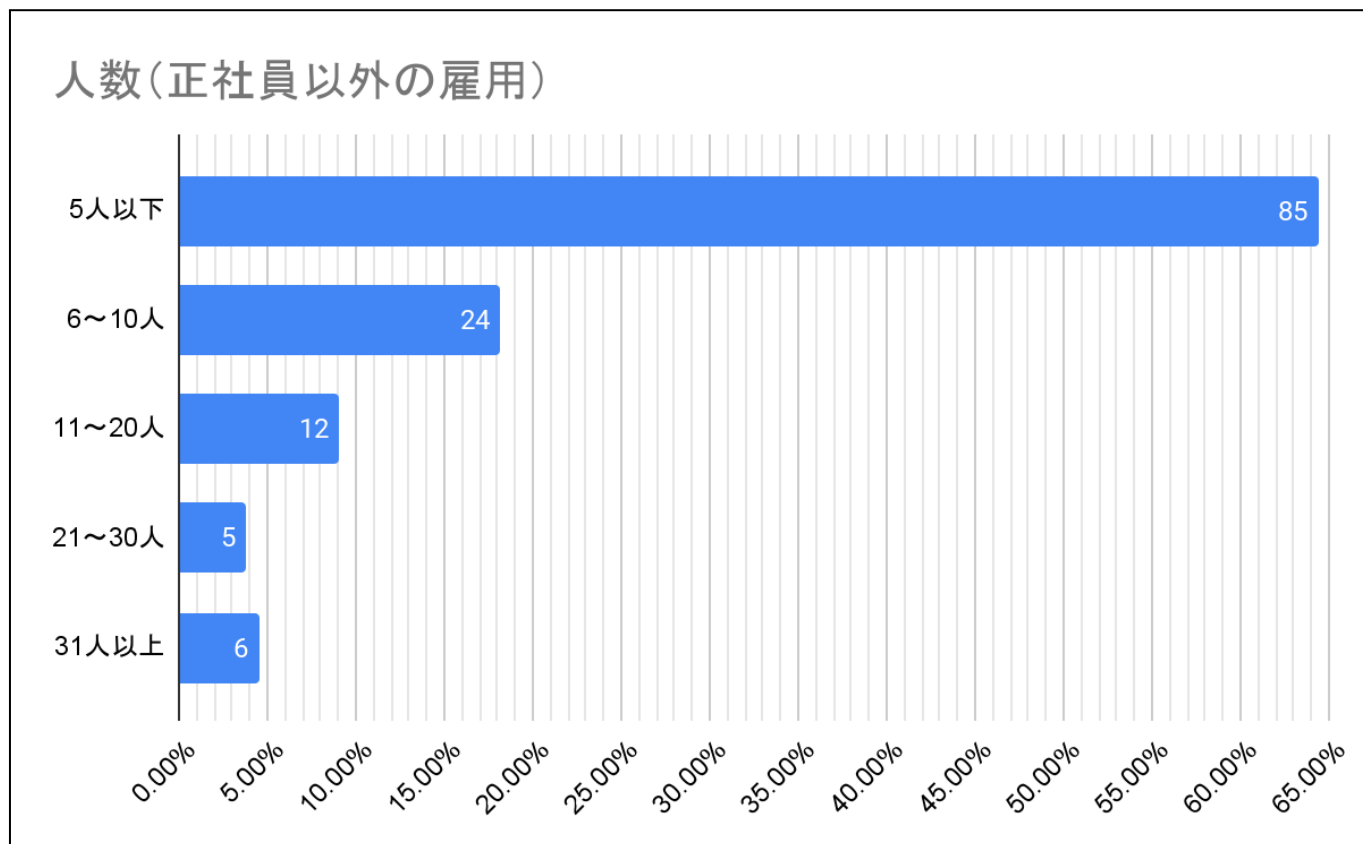


回答数 = 101

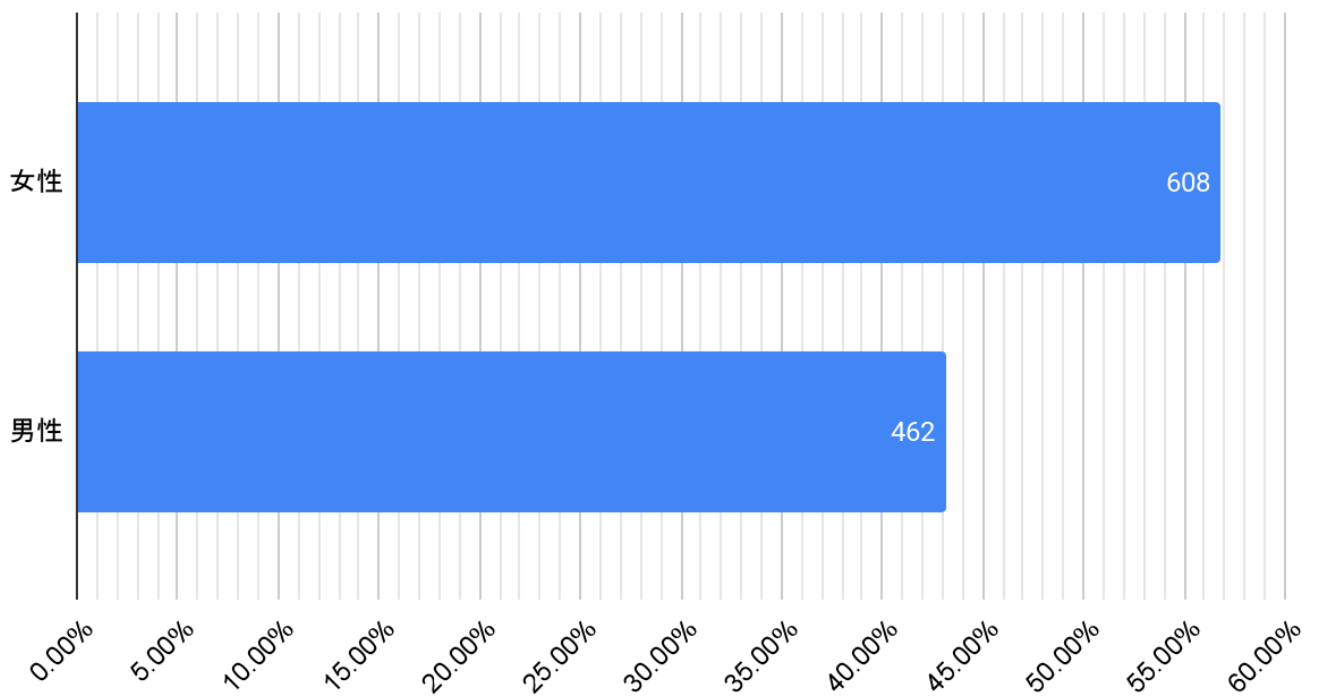


(6) 貴社の正社員以外の雇用人数（市内雇用）、男女の人数、平均時給を記入してください。

回答数 = 132



男女比(正社員以外の雇用)



○平均時給 (円)

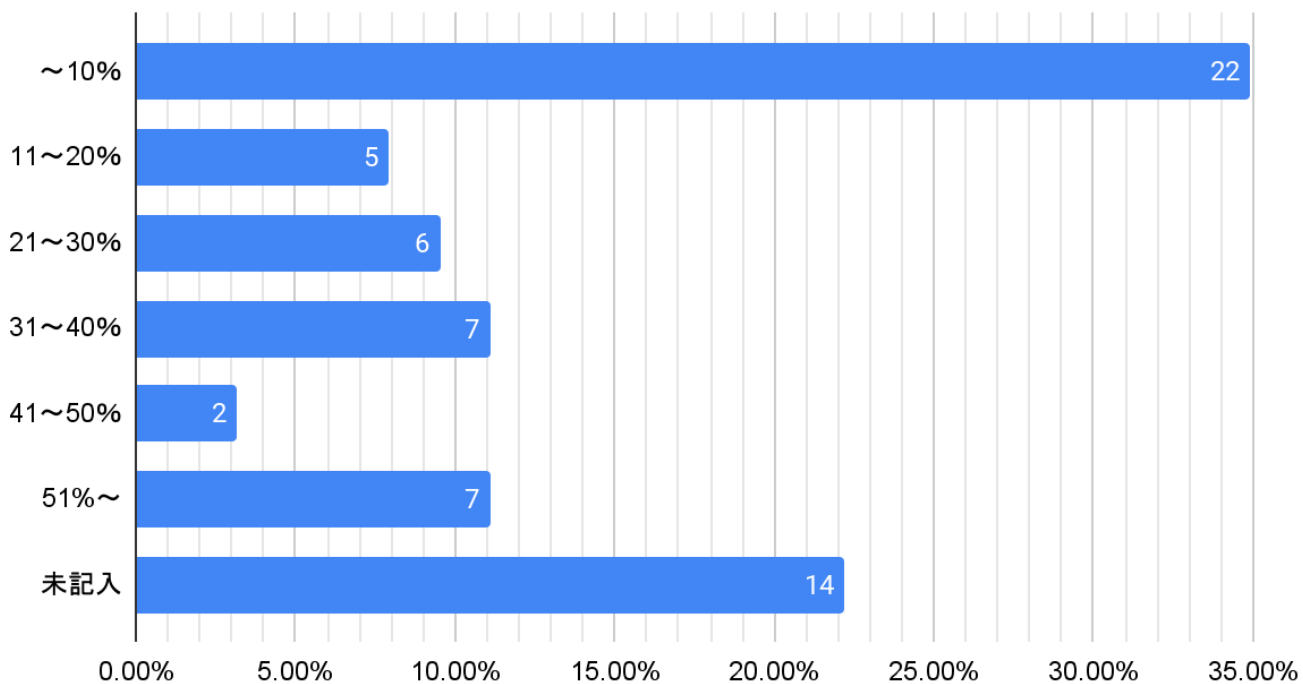
男性：回答数 = 69、女性：回答数 = 92

	平均時給	最低額		最高額
男性	1,213.38	857	～	3,000
女性	955.42	800	～	1,500

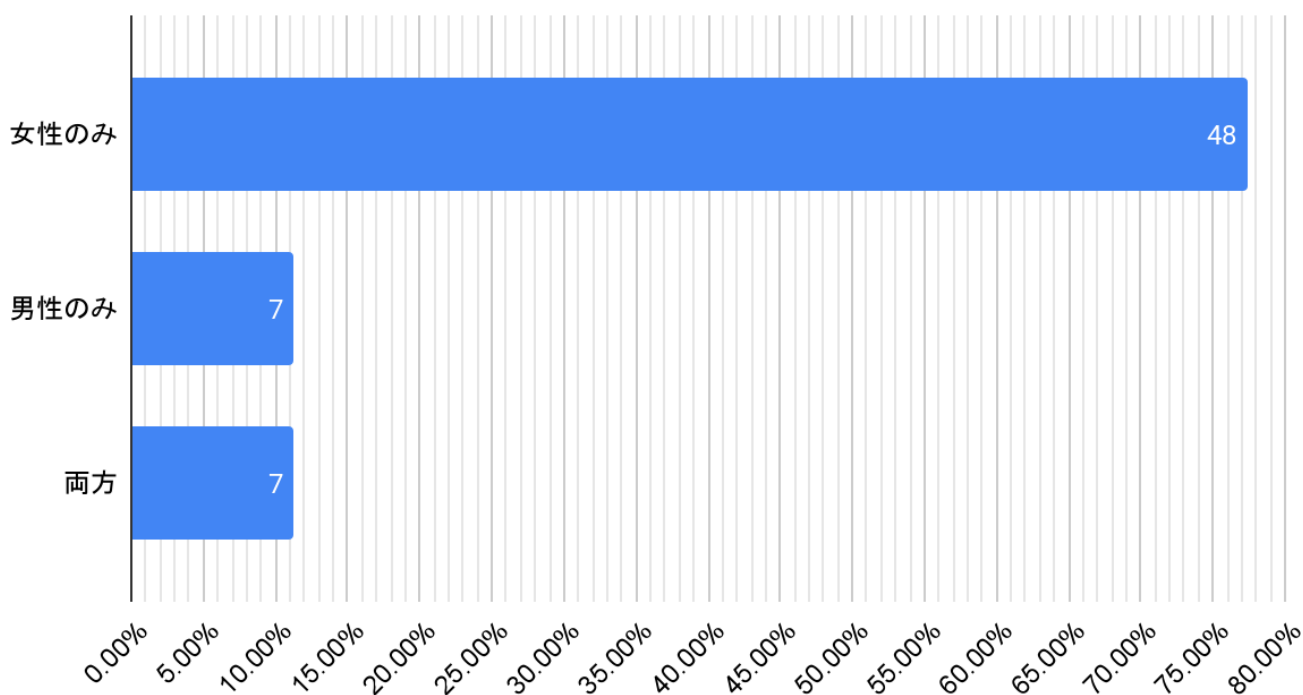
(7) 貴社で扶養の範囲内で働く方の人数を記入してください。

回答数 = 63

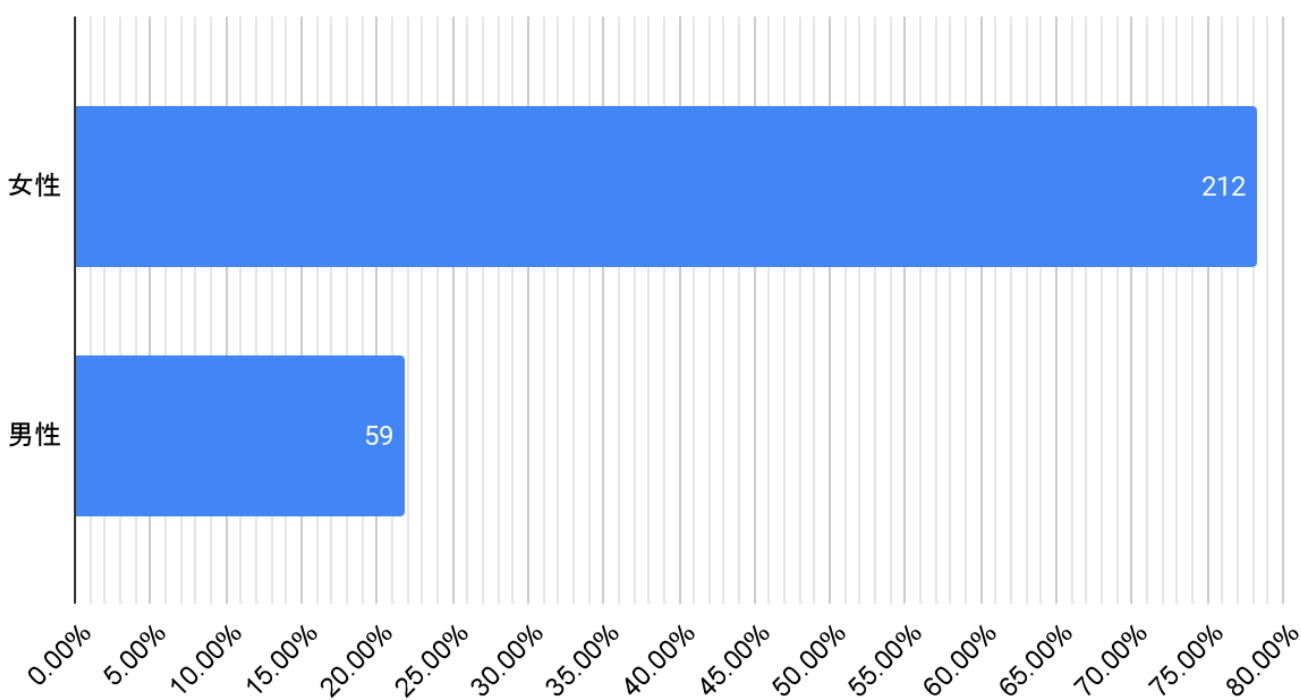
扶養の範囲内で働く方の割合



事業所数(扶養の範囲内で働く方)

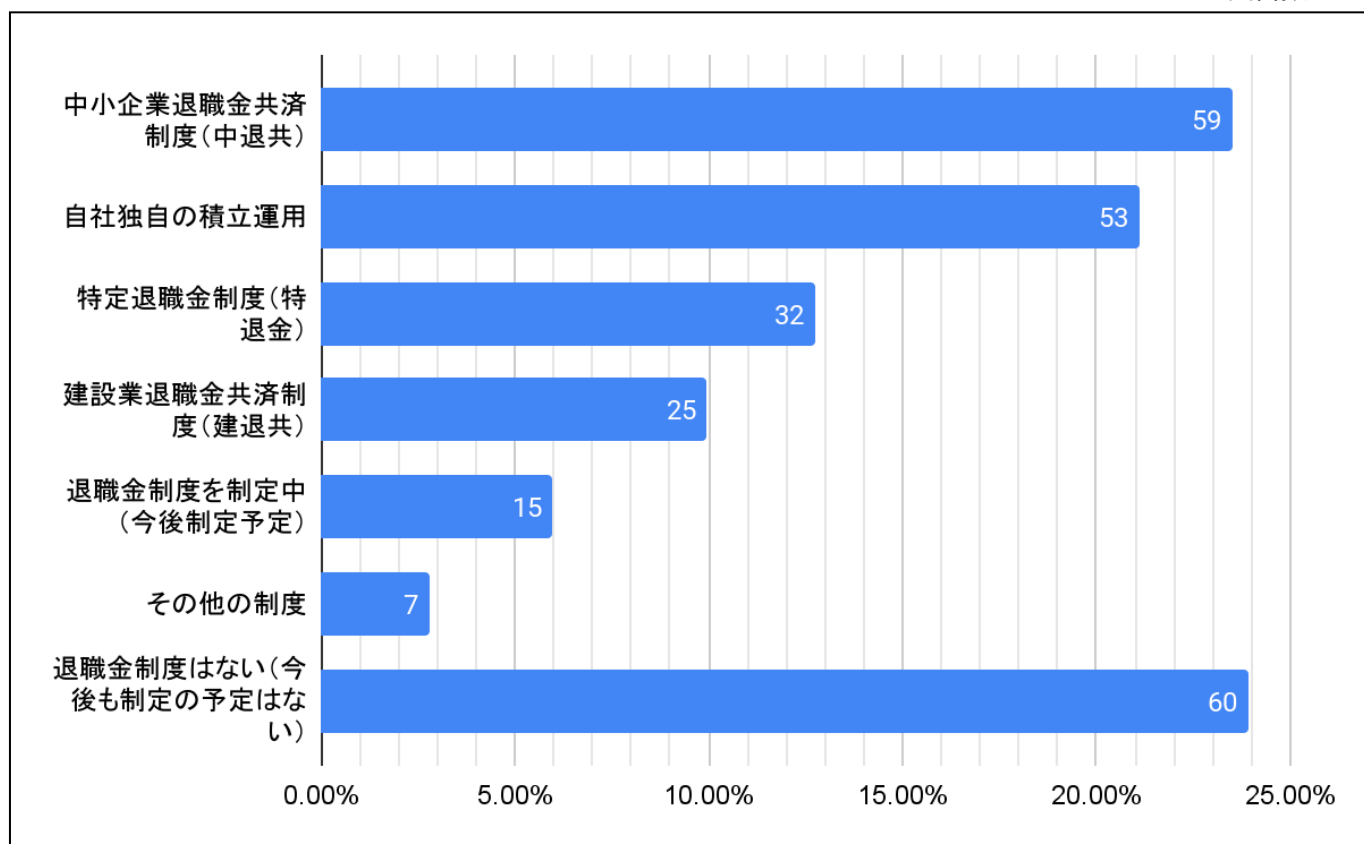


男女比(扶養の範囲内で働く方)



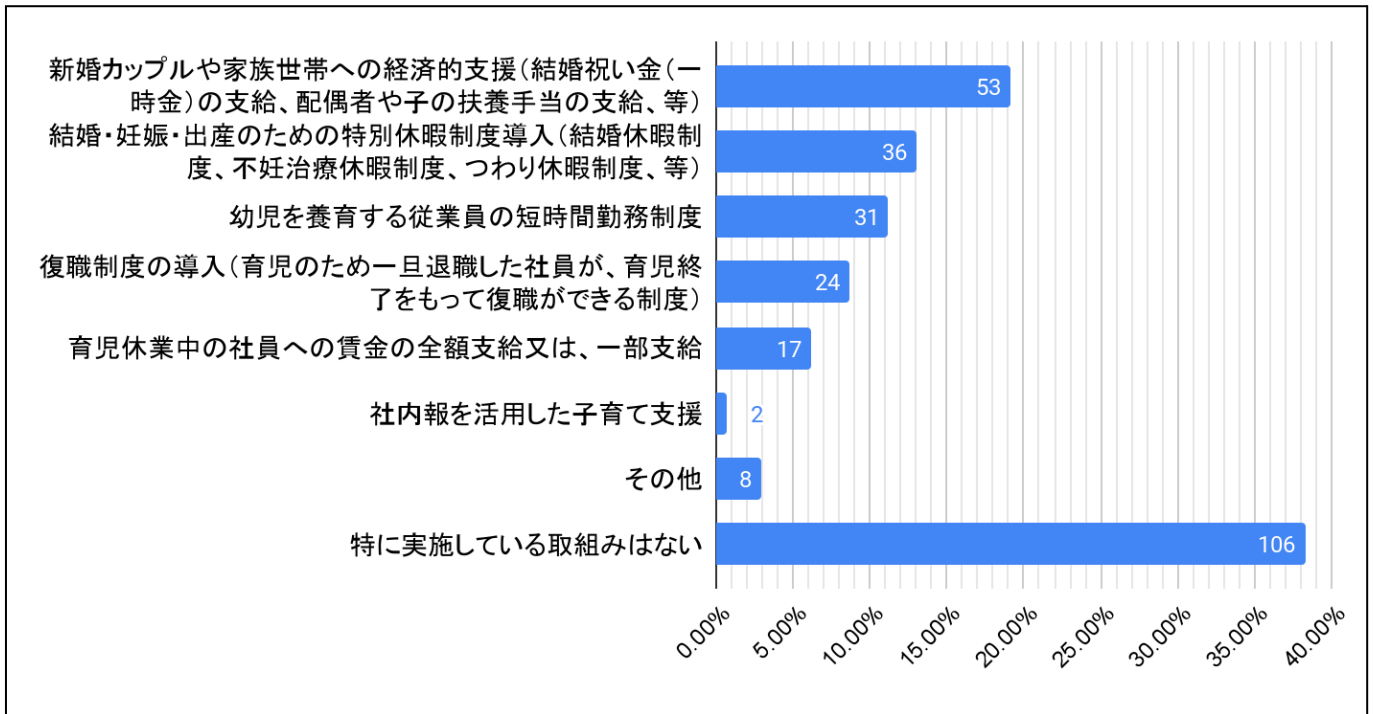
(8) 貴社の退職金制度で利用しているものをお聞かせください。

回答数 = 215



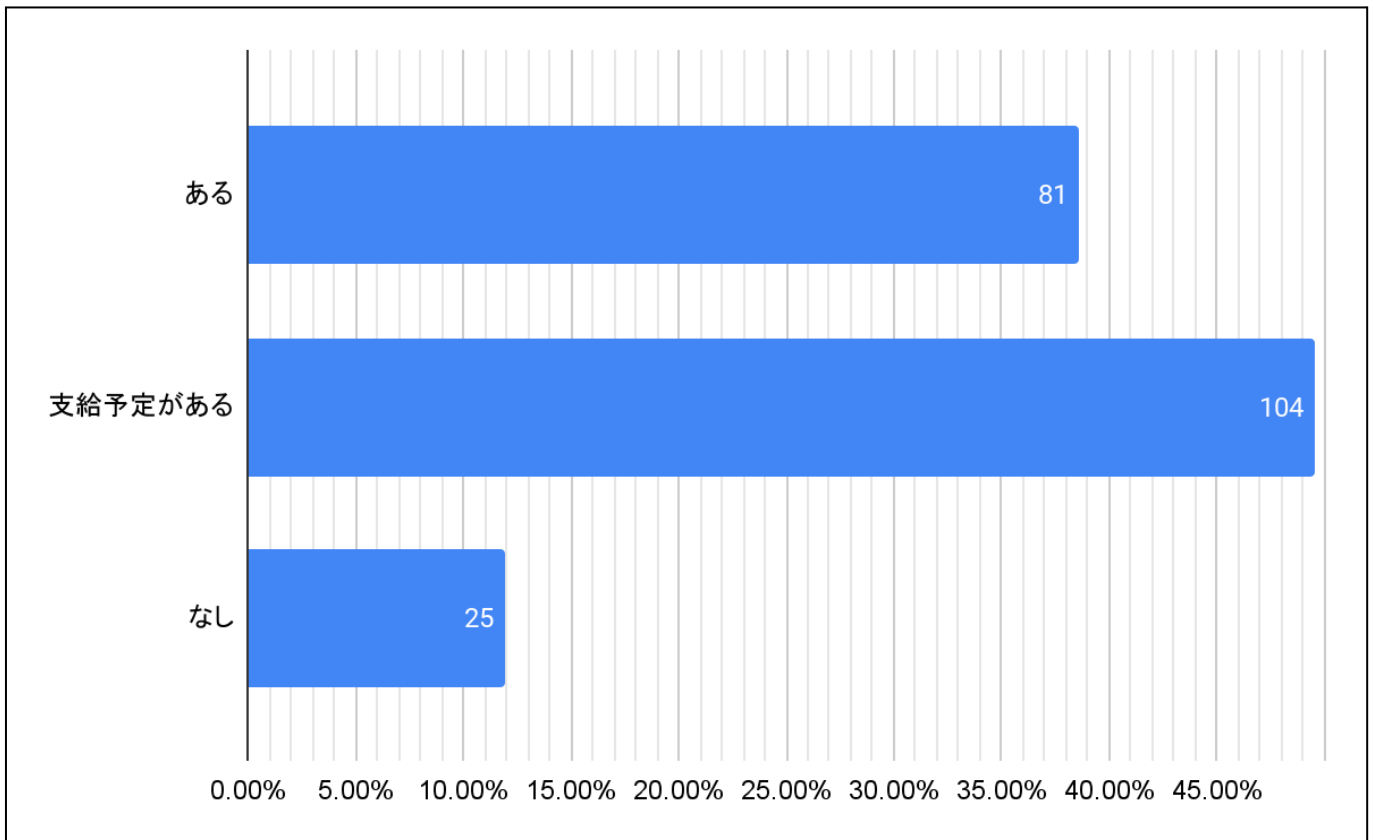
質問2. 結婚・妊娠・出産・育児を支援するため、貴社が社員に対して実施している自主的な取組みについてお聞かせください。

回答数 = 196



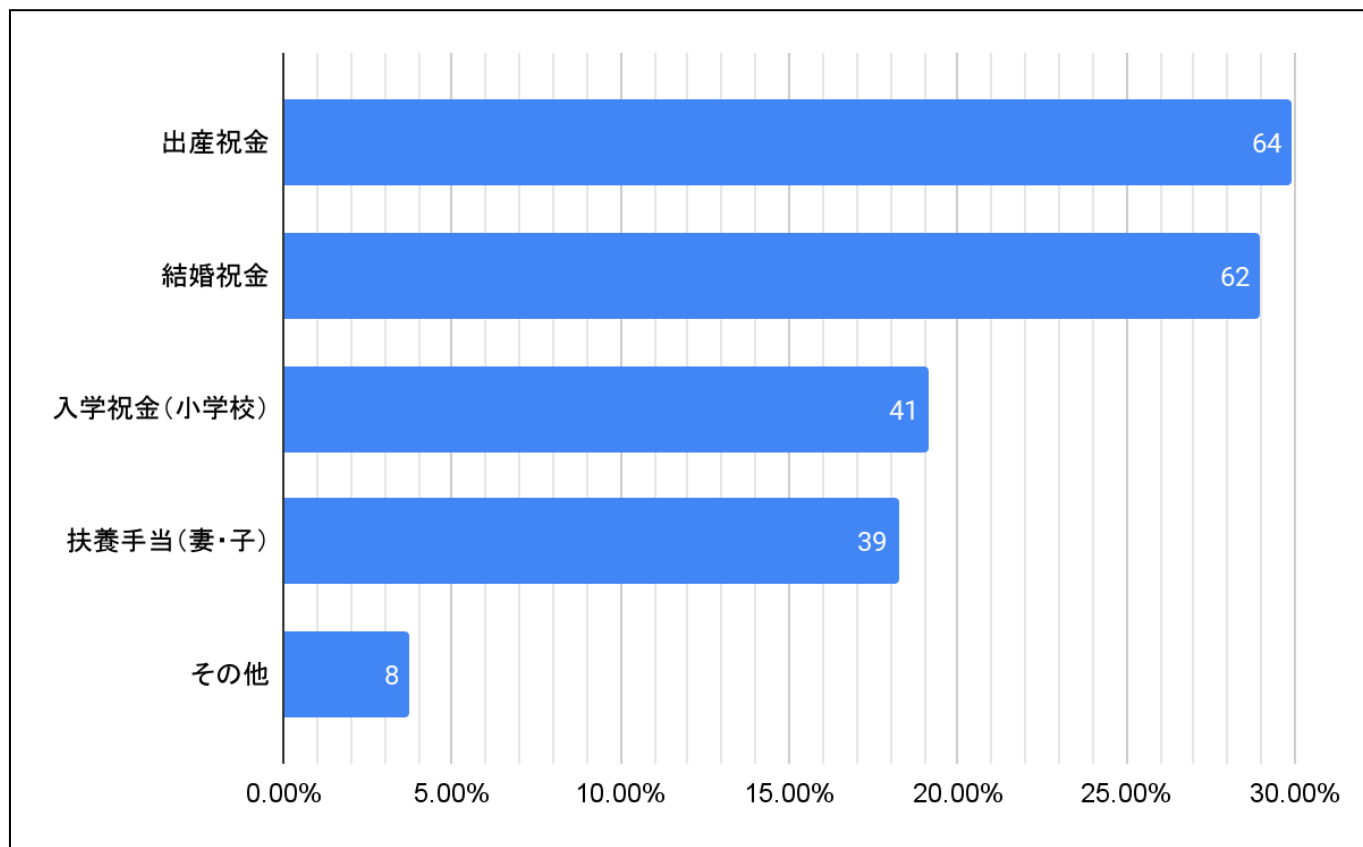
質問3. 社員が結婚した場合、子供が生まれた場合、第2子が生まれた場合等、貴社が社員の妻・子供に対し、“支給している”または“支給予定”の手当はありますか。

回答数 = 210



質問4. どのような手当を支給・支給予定していますか。

回答数 = 79



※支給額

出産祝金	5,000	～	100,000	結婚祝金	10,000	～	100,000
入学祝金	3,000	～	30,000	扶養手当	1,000	～	20,000
新築祝金	30,000			資格取得祝金	5,000	～	30,000

質問5. 直近3年間の育児休業、介護休暇及び短時間勤務の取得状況（申し出ている者を含む）をご記入ください。

○女性

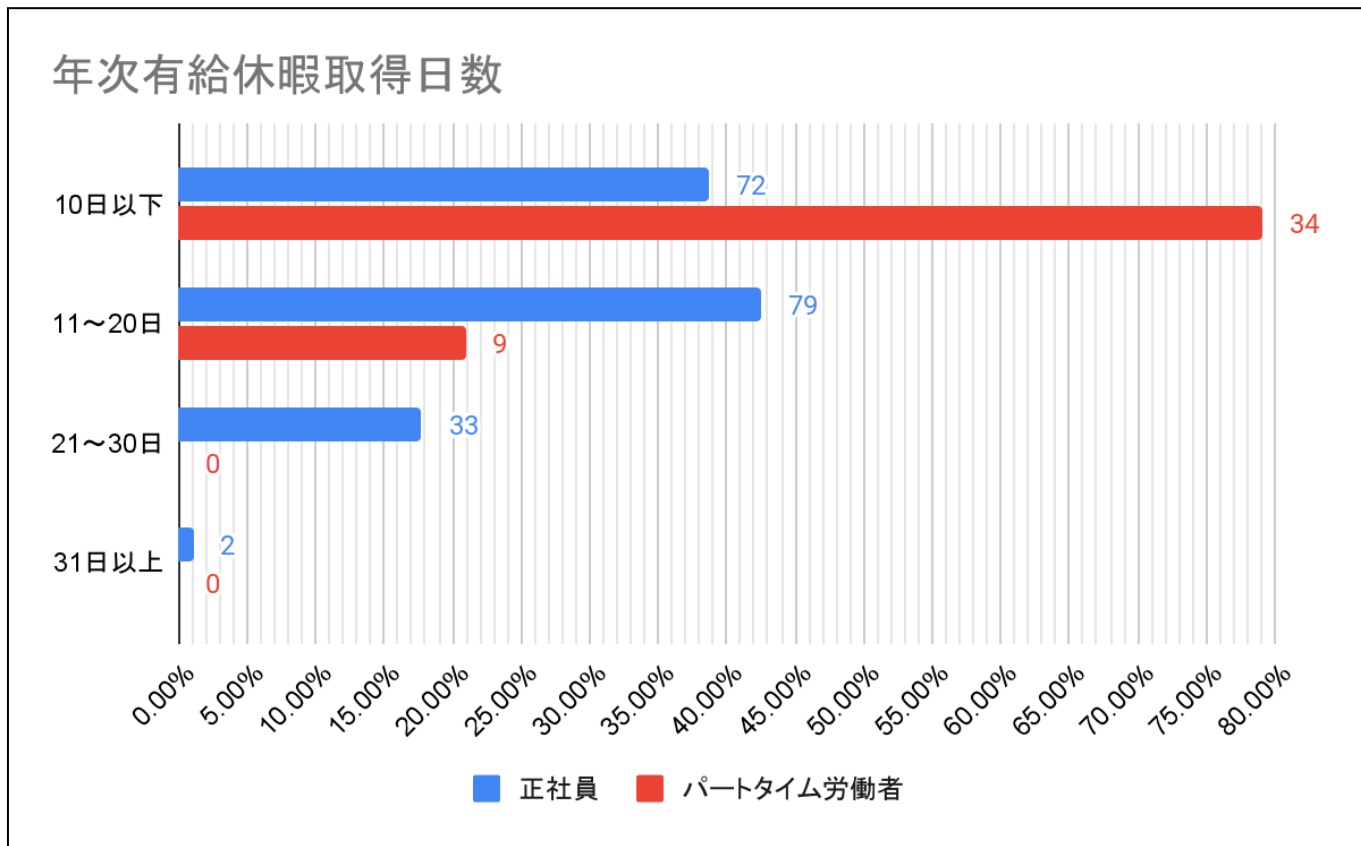
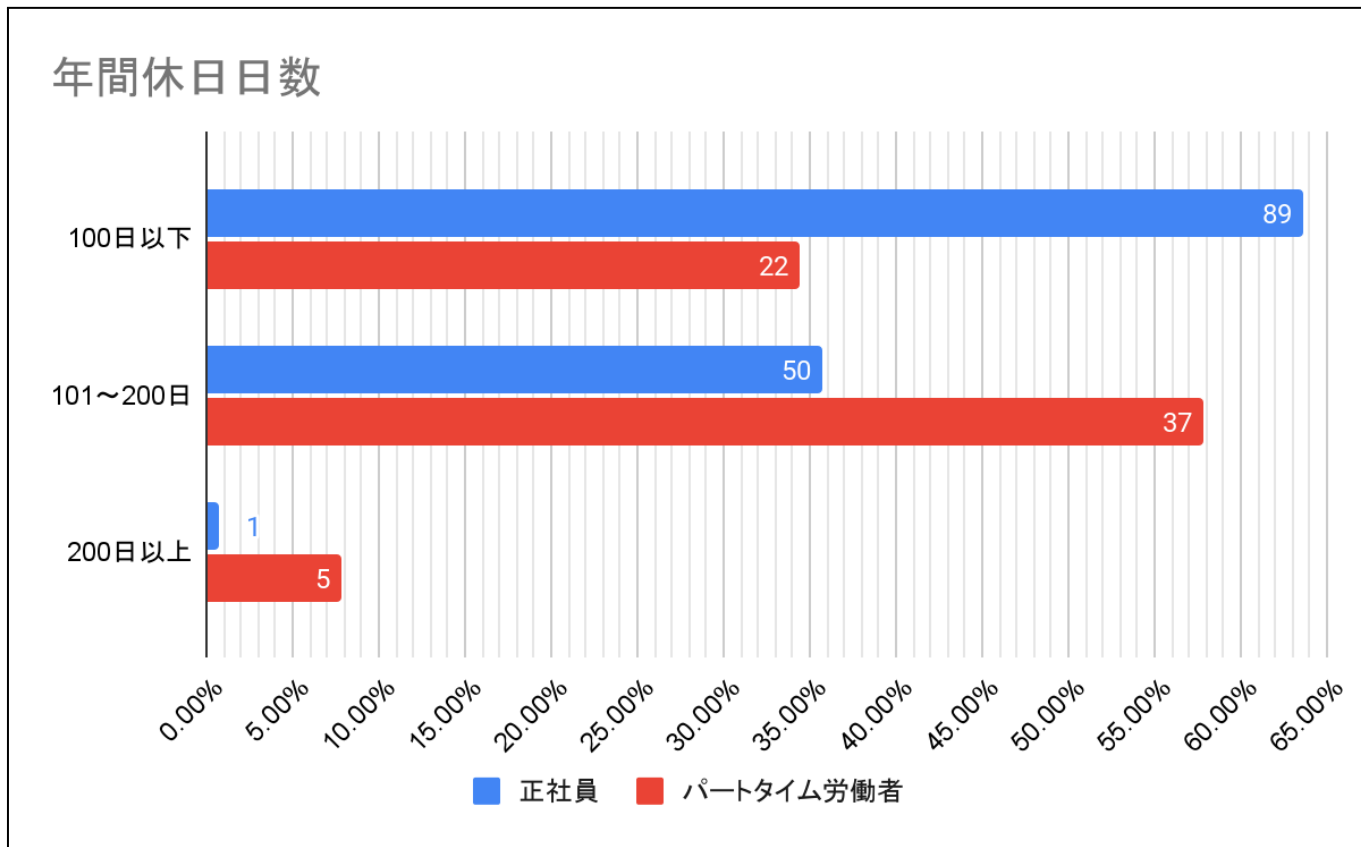
		事業所数	人数
育児休業	取得対象者数	25	107
	取得者数	25	102
産休	取得対象者数	30	113
	取得者数	30	115
看護休暇	取得者数	6	6
介護休業	取得者数	5	5
介護休暇	取得者数	7	7
短時間勤務	取得者数	15	40

○男性

		事業所数	人数
育児休業	取得対象者数	16	54
	取得者数	9	38
産休	取得対象者数	6	12
	取得者数	1	1
看護休暇	取得者数	3	3
介護休業	取得者数	2	3
介護休暇	取得者数	4	5
短時間勤務	取得者数	7	7

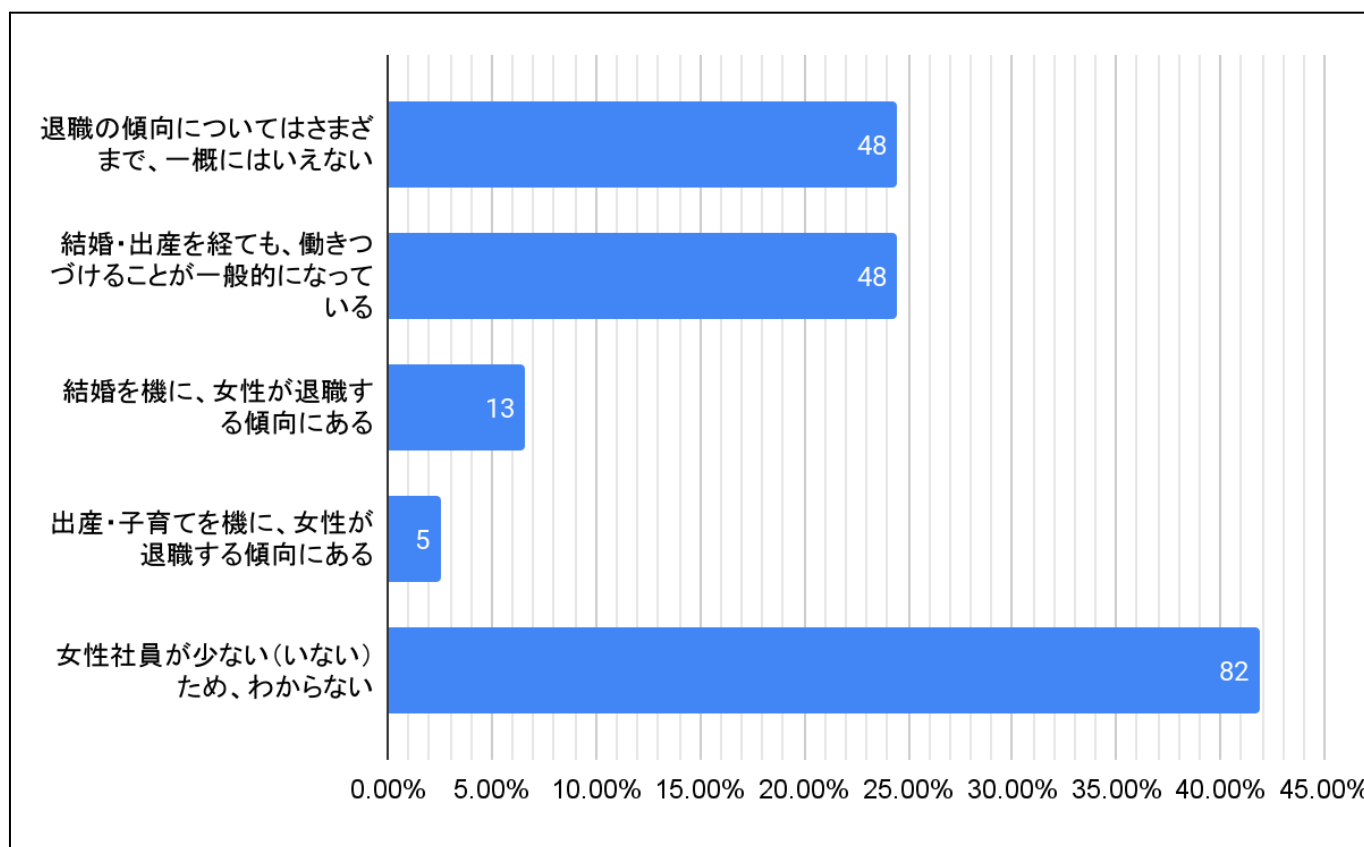
質問6. 正社員（常用労働者）及びパートタイム労働者の令和3年度における年間休日日数、年次有給休暇について記入してください。

回答数（正社員） = 141
回答数（パートタイム） = 64



質問 7. 貴社では、結婚や出産・子育てを機に退職される女性社員の方はいますか。

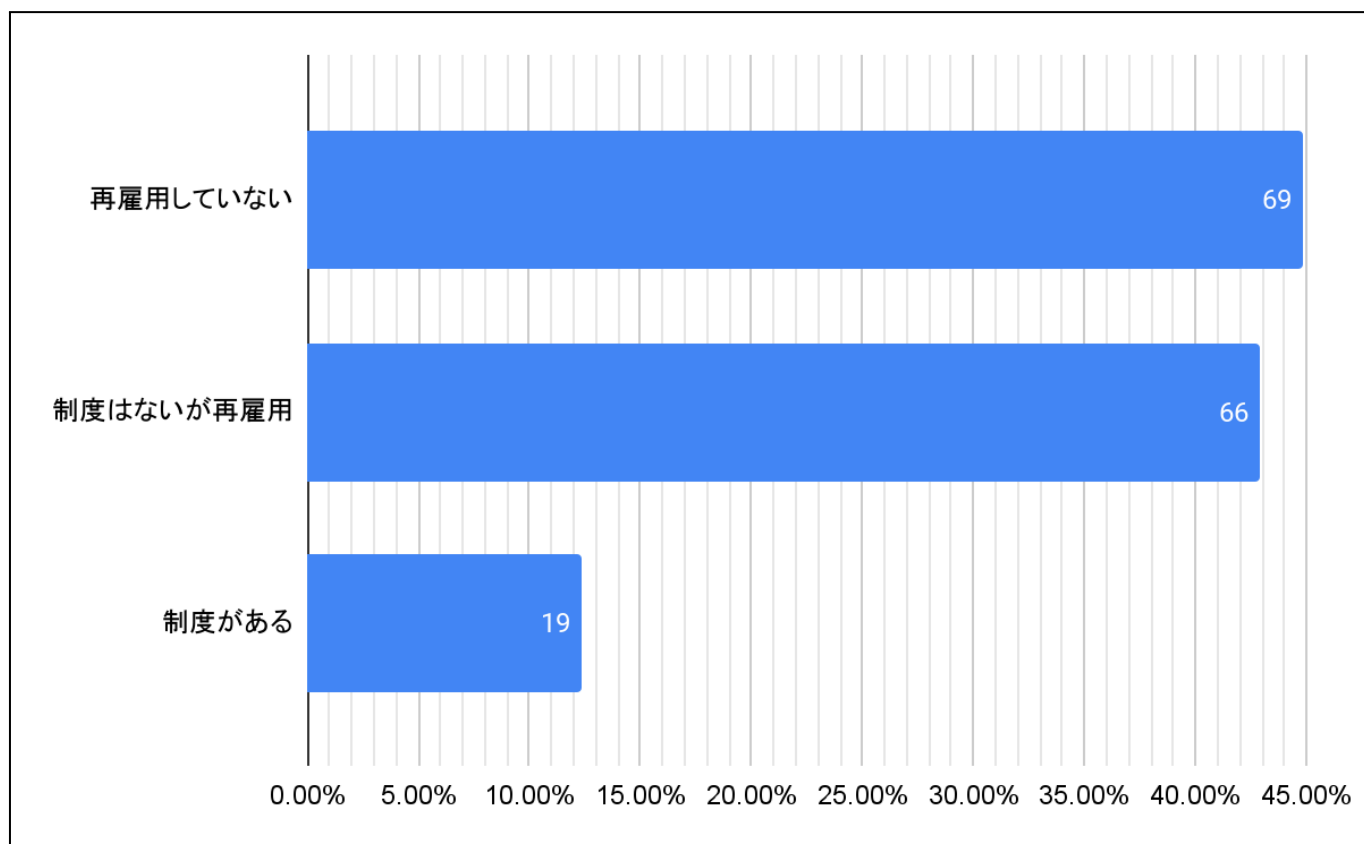
回答数 = 177



質問 8.

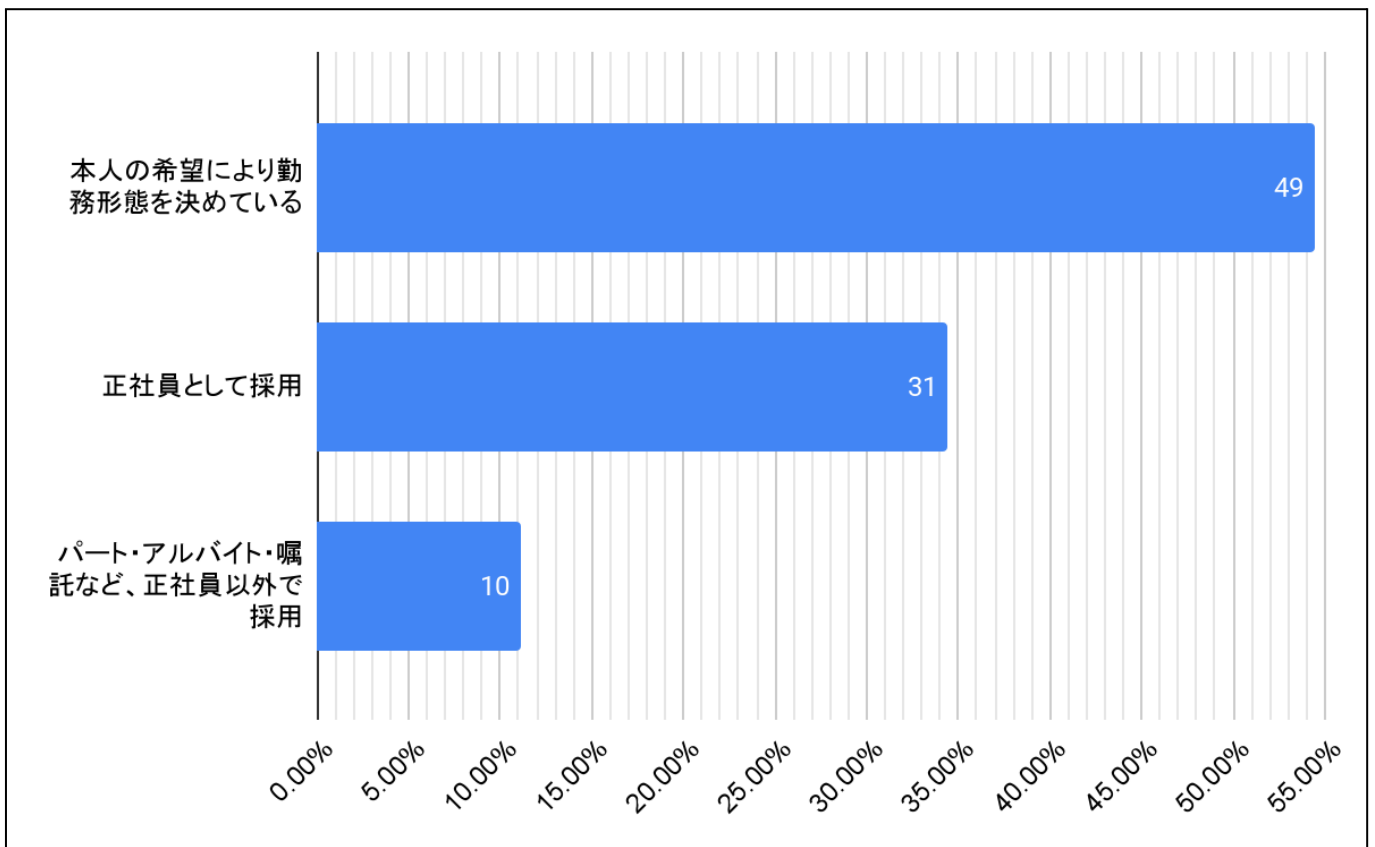
(1) 貴社には、出産・子育てを機に退職した正社員を再雇用する制度がありますか。

回答数 = 154



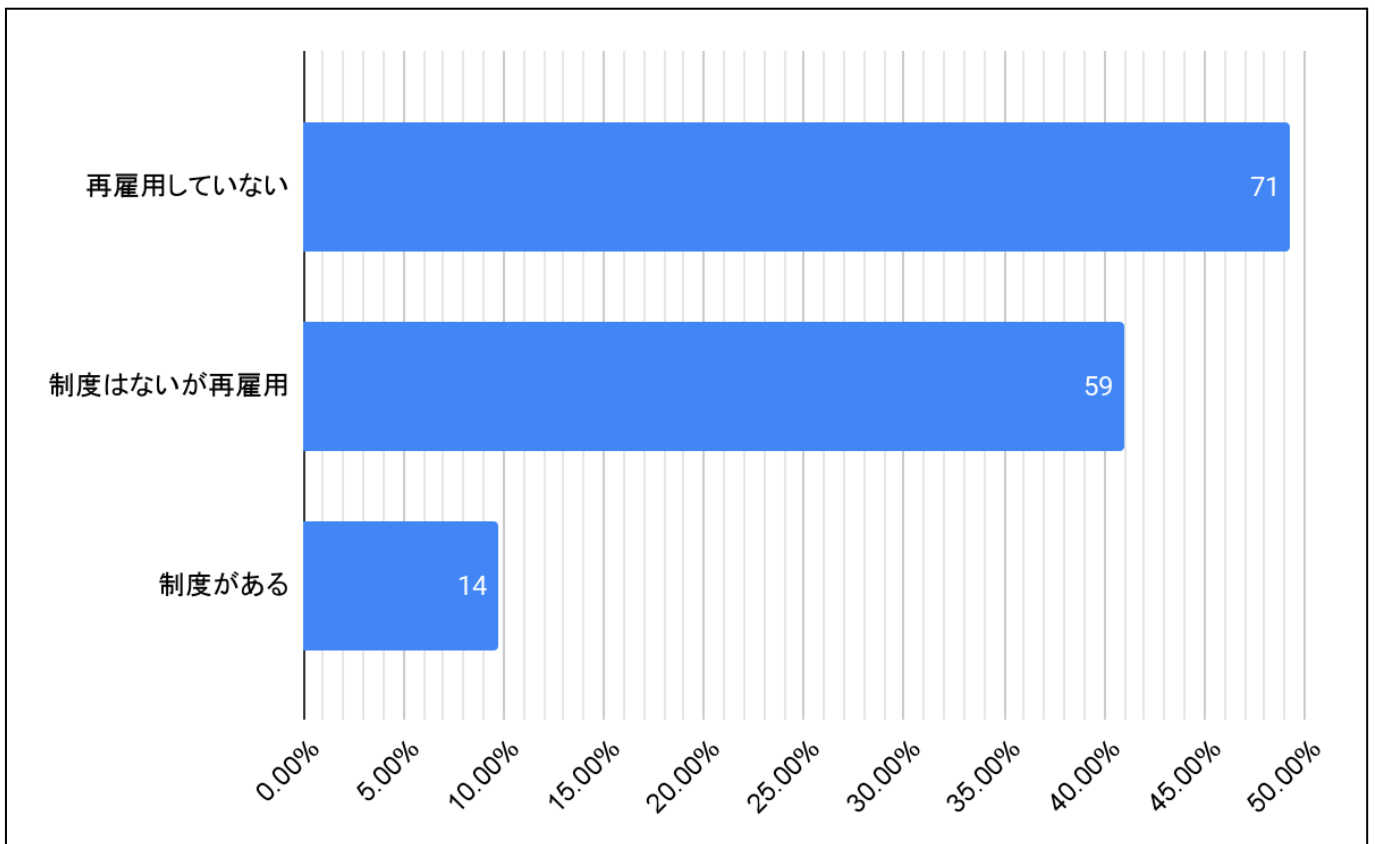
(2) 再雇用した元社員の勤務形態で、最も多いものを1つ選んでください。

回答数 = 90



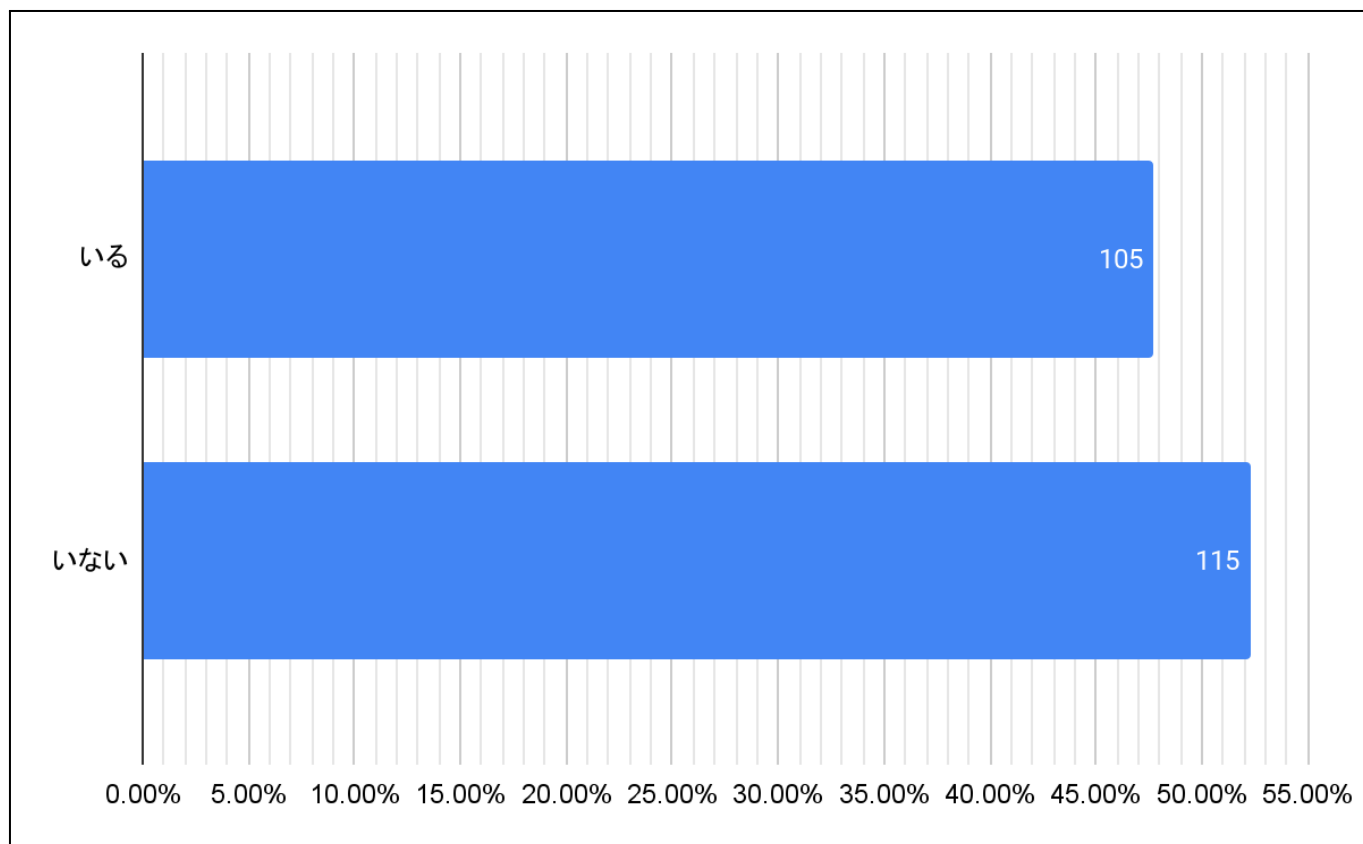
(3) 貴社には、出産・子育てを機に退職したアルバイトを再雇用する制度がありますか。

回答数 = 144

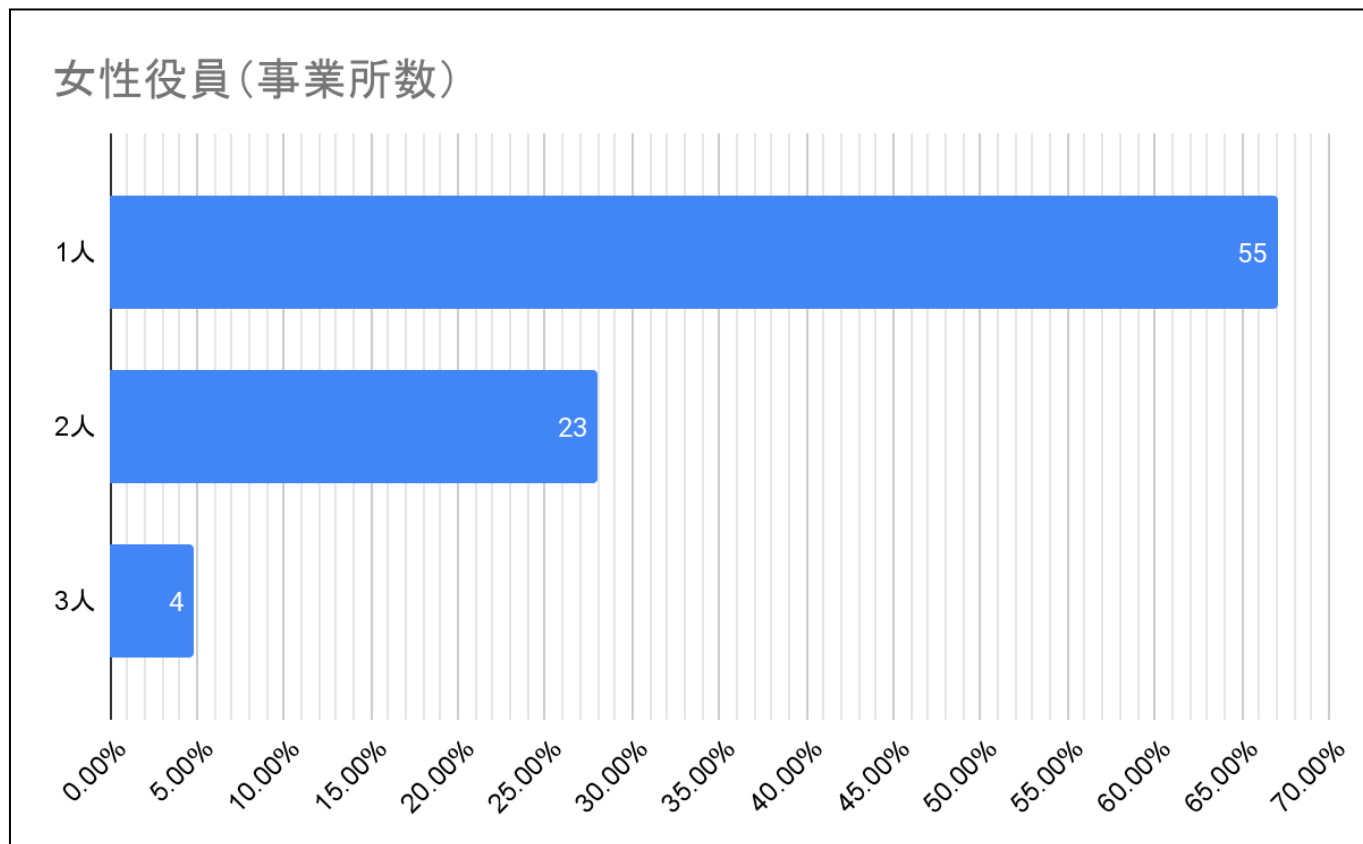


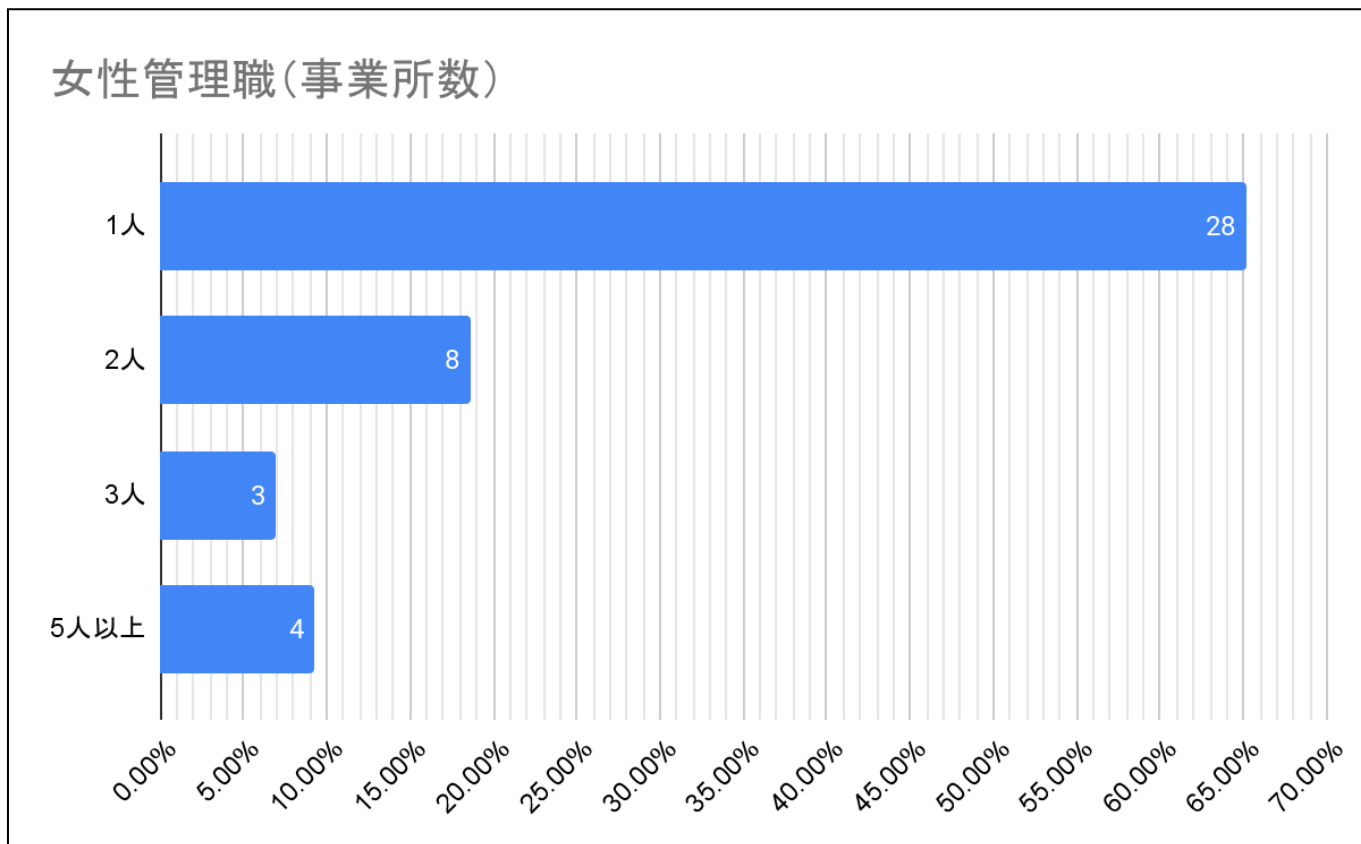
質問9. 貴社には、女性役員・管理職がいますか。

回答数 = 220

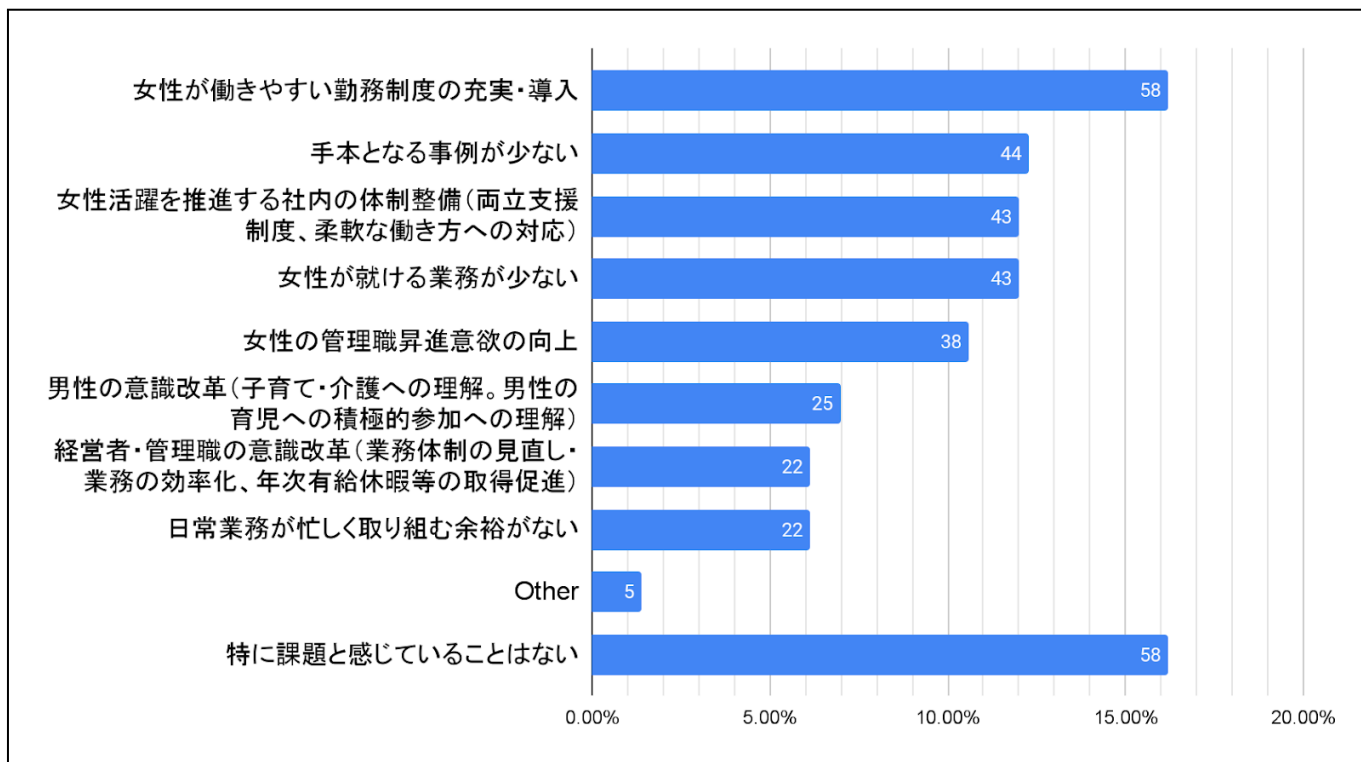


回答数 = 82





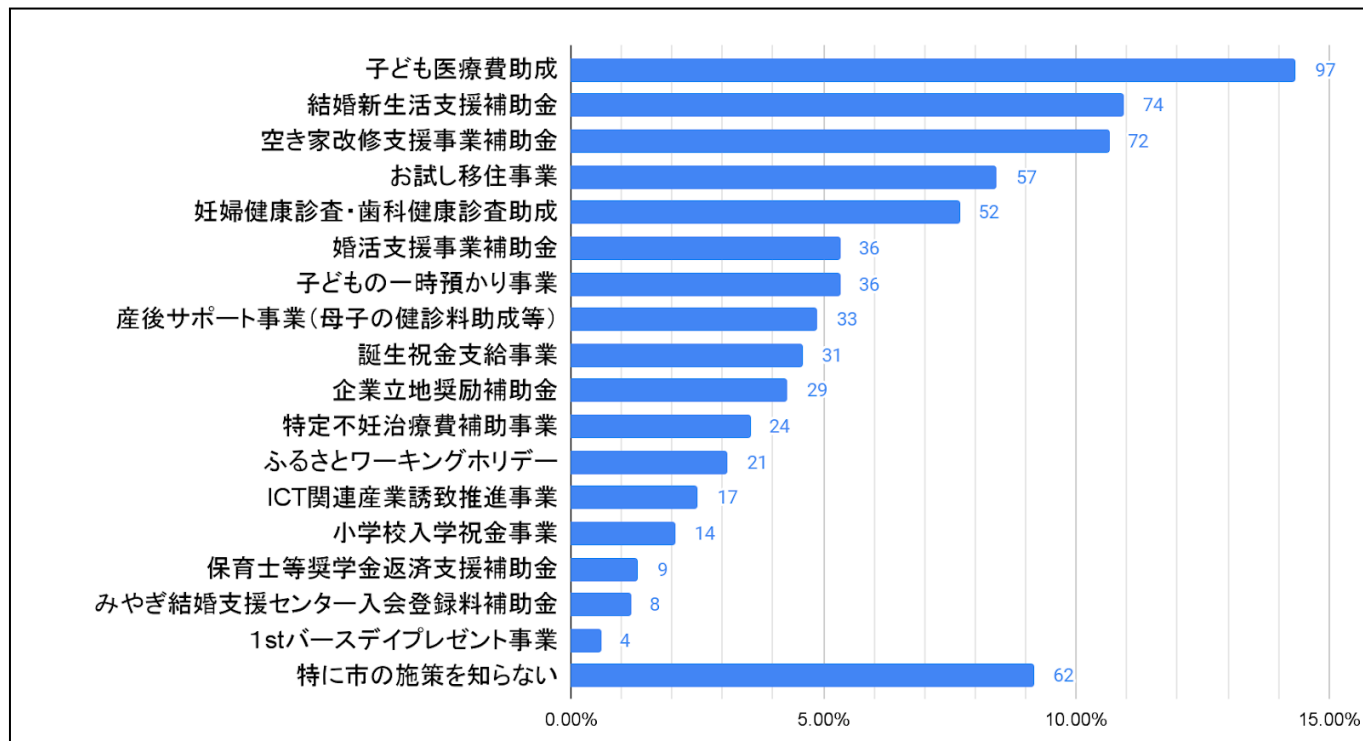
質問 10. 女性活躍を推進するあたり貴社にとっての課題は何ですか。



◇人口減少対策についてご記入ください。

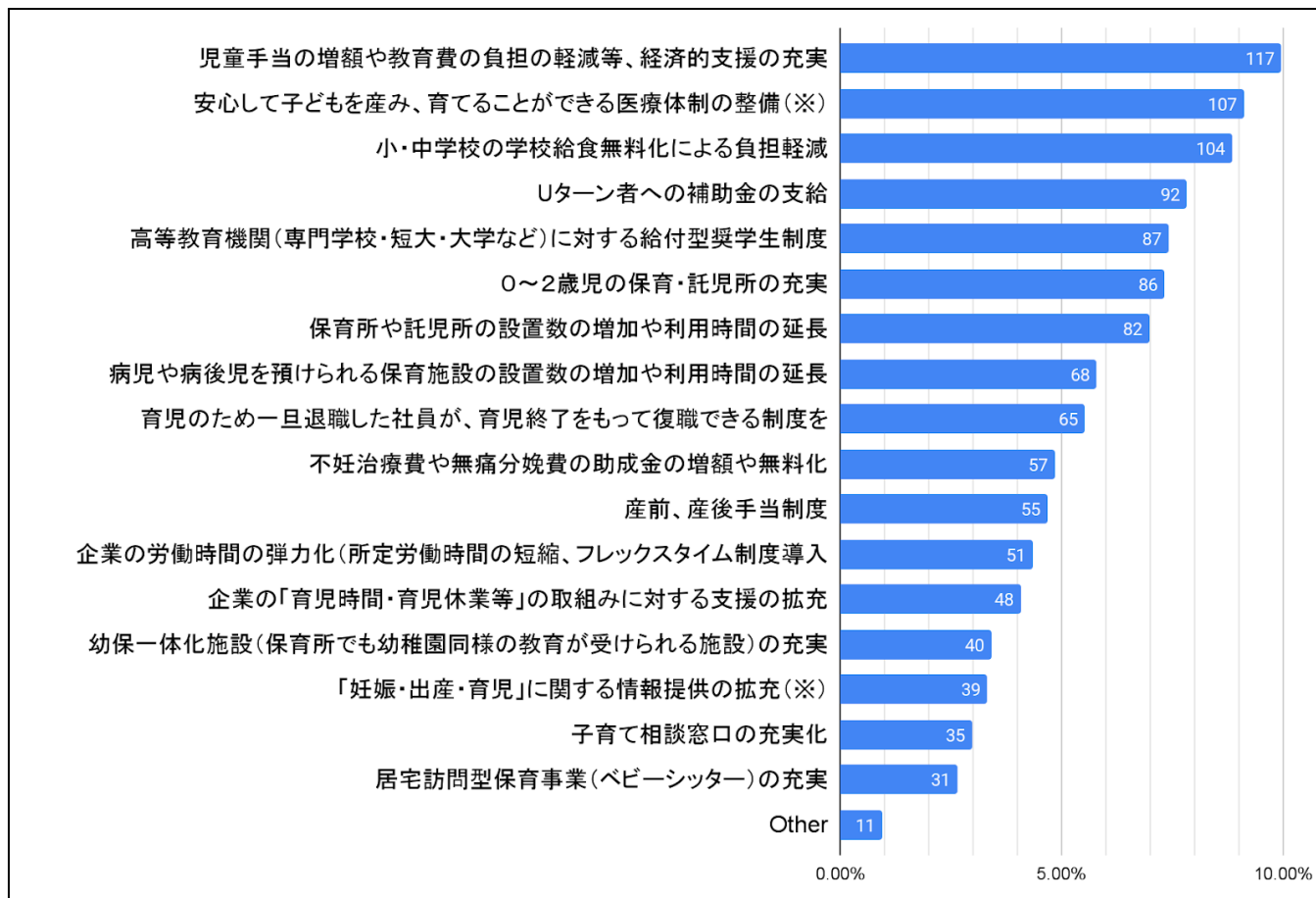
質問 1 1. 気仙沼市の人口減少対策関連の施策のうち、知っているものを○印でお困みください。

回答数 = 219



質問 1 2. 人口減少対策として、貴社が有効と考える行政の施策をお聞かせください。

回答数 = 211



質問 13. 気仙沼のIターンや、Jターンの移住者を増やすためにはどのようにしたら良いと思いますか。ご自由にお書きください。

① 移住者に関する施策

回答数 = 18

移住者支援の拡充
I.J.Uターンの若者が、ともに楽しみながら集える場を提供していく（あまり大々的な催しは二の足を踏むらしいので、じわじわと輪が広がるようなもの。具体的にはわかりませんが）
移住者に選ばれる職場を目指す
楽しそうに生活しているIターン・Jターンの若者の様子を発信する
業種毎に移住希望者への面談の機会を行政等が設定する。
移住者に家賃の補助金をだす。
移住から〇年間、家賃95%OFFで市営住宅に入居できる制度
40歳以上の気仙沼市在住の若い人たちに対する理解力の向上（移住者をよそ者扱いしないような取組み）
IターンやJターンの移住者を増やすことだけで人口減少がなくなることもありますが、今の気仙沼在住の若者をいかに、とどまらせるかといったこともすべきかと考えます。（具体的なことは思い浮かびませんが...）
（若手の意見）実際にIターンJターンされた方に何が魅力だったかリサーチしては。
自治体は支援策を作って各移住定住サイトなどで情報発信をする（軽く検索してみたが、気仙沼市が移住・定住に力を入れていないのがよくわかるほど情報が出てこなかった）。若者が若者を呼ぶので、人との繋がりを通じて若者が楽しく充実した暮らしが出来ることができ、そしてそれをSNS等で情報発信してもらえれば
気仙沼市のIターン、Jターンの施策を地元高校生に周知する。また、東京、地方団体にも周知活動する。
移住者歓迎キャンペーンの実施（補助金や商品券の支給など）
移住相談と還郷促進
行政として移住者に移住費（家賃、住宅取得費）の助成を行う
移住者の税金免除
市営住宅を移住者に無期限で比較的安価で貸す
大幅に下げる施策を行政が誘致すべき。この街に移住するなら何々をしてやろうとか、IターンJターンで何々を優遇しますでは、移住は難しい。この街なら住みたい、子供を産んで育てたい。何よりも市民を巻き込んでの街づくりが優先される。ここだったら幸せになれそうと言う心が動かなければ前に進まない。夢がないから。

② 魅力的なまちづくり

回答数 = 16

より魅力的なまちづくり	・・・【意見票数5】
独自性・魅力的な町づくり（エネルギー・資源循環・食等）ESDS	
気仙沼の衣食住に関する良さを継続的にPR（実績紹介や展望をまじえ）することが必要ではないかと思いません。	
広く告知して、コミュニティの場を多くもうける	
より良く住みやすい街を創る	
そもそもこの地域も移住者を増やしたいと思っている。増やそうと思わず、今の市民を大事にして、明朗、愛和、喜働、をすれば、自ずと若者は、集まり、増えていく。	
魅力ある街・企業になるための努力	
やりがいのある仕事があると思われるような町づくりが必要だと思う。	
魅力ある施設の充実（娯楽含） お試し制度の導入	
気仙沼の魅力を発信し、マリンスポーツの充実、海の駅、マリーナ等の施設設置。	

土地や町に興味を持ってもらえるような発信。（地域内外の経済と人が循環できるような）働く場所があって、公共の交通手段が充実していて、住みやすい町であればいいと思います。家賃が高いように思えるので補助があってもいいと思います。

気仙沼の魅力を継続的に発信する。試行錯誤を重ねながら。

③仕事、職場、産業の創造、進化

回答数 = 71

給与水準・賃金の向上	・・・【意見数16】
働く場所（働きたいと思う場所）の確保(起業促進)	・・・【意見数12】
起業支援	・・・【意見数4】
大手の会社（工場）の誘致	・・・【意見数3】
福利厚生充実	・・・【意見数2】
将来の生活設計が成り立つ待遇を担保する	
職種	
自分が望む仕事があって、高い給料で勤められること。	
若い世代のライフニーズに対応した安定し魅力的な雇用の創造。	
若い世代にとって魅力的な場所や事柄を街に増やす。	
給与の格差を無くす 繁華街、娯楽場所の充実 新幹線駅へのアクセス整備	
若い方達が多方面で行動してくれて移住者も増えているようだが、受け入れる側（企業や大人達）がもっと若い方達の声をすくい上げてくれたら可能性も広がるし、街全体が活気づいてくれると思う。『子どもにこっちじゃ生活できないから帰ってくるなって言ってる』と聞くと、たしかにそうだと思うけど、大人達がそういう考えでは流出は加速するばかりだと思う。高校生達も未来の気仙沼について真剣に議論していたりするのもいいですね。	
企業の待遇増	
各企業の情報発信。	
漁業関係以外の産業を増やす。	
変えられる部分と変えられない部分を把握し、変えられる部分で企業価値を上げて、多様な人材から選ばれる企業になること	
就職先・職種、都会との収入差の改善	
一次産業の見直し	
経験・能力を活かせる職業・職場があるといいと思います。	
年間休日が少なく、賃金が安い企業が多いため、都会の賃金で休日もあった企業で働いたら就めたいとは思わない。 求人から改善する必要があると思う。	
仕事場やあそび場を作る事	
各種軽減策（市・国）と労働者賃金の値上げに対する企業への補助金等の支援。	
都会と変わらないような賃金	
農業、漁業新規就業者への支援、企業者への支援、	
気仙沼市内の仕事斡旋。	

チャレンジできる環境、現在地元で頑張っている方の支援策が必要と思う。
企業融資
勤務先の紹介及び提供、複数箇所からの収入
職種の豊富さ。
起業希望者への市の取組みや利用場所等の情報発信。
やりがい・生きがいを搾取せず、相応の待遇を提示できる成長産業の育成・誘致。
人間関係が良いなど、有給を取得しやすいなど働きやすい職場環境
就職の斡旋
就職先、転職先の情報提供、選択肢の拡充
日常生活に支障の名給与（現状は低賃金）
労働環境は当然であるが、職種を増やす。 若い人が出ていく一つの理由に自分がしたい職種がないというのがあるかもしれません。職種もそうであるが、物が少なすぎる、選択できるものをもっと多くする。流行りに乗る。
働き先会社に援助
仕事がない、成り立たない、経済の相互流通のない、助け合いの流通のない町は難しい。商店でも会社経営でも儲けは多く求めないが支えあう意識のある地域でないと将来的不安で安定しないでしょう。
生活面では商業施設などの売買のできる施設が少ない。市内にないので多様な業種の求人やショッピングセンター、ホームセンター、飲食チェーン店などで市内が充実していけばIターン、Jターン移住者の方々は増えるのではないかと思います。

④住居対策

回答数 = 30

家賃の減額・補助	・・・【意見数7】
空家活用（災害公営等含む）、空家の低額貸付・無償貸出し	・・・【意見数5】
住宅補助	・・・【意見数3】
あるもの、出来そうなことからの案ですが今後空きが出るであろう公営住宅を企業が安く借り上げる等出来れば県外の人を採用し易いかなど。車がないと厳しい町なので巡回バスの範囲を広げる等。	
快適な住環境の提供。	
住む場所を見つけやすくすること。企業側が社宅を整備する場合に使える補助金を手厚くする。	
住宅取得に対する支援。	
私自身が岩手県に住所があり、店舗を気仙沼に出店しています。いずれは、気仙沼に移住を考えていますが、物件情報や、支援等があれば助かります。	
住居の確保。仕事（職場）の充実。	
住みやすい環境づくり	
住居の提供（有償）	
空家問題の解決に新しい家族に土地・家等を提供して欲しい。	
災害公営住宅を利用したお試し移住、その時に希望があれば、気仙沼みなし、親せきを紹介して、色々とお節介を焼いてもらい気仙沼の暮らしになじんでもらう。	
空き家リフォーム補助、子育て世代を集合住宅へまとめる（+カーシェアリング）、民間の賃貸住宅もかなり空室があるようだが有効活用できないか、なるべくまとまって暮らしてもらうことでその後の支援も受けやすくなる	
若い人は古民家のようなものを好む=住んでみたい	

そのための両方の補助
若い人が魅力的だと思える住環境の整備が必要
マイホームについての具体的な相談を直近で複数受けたことから、住宅ローンの優遇(又は特別な制度)が必要であると感じています。
いろいろあると思いますが、気仙沼が住みやすい町であることが前提となりますので他の町で功を奏している内容を把握して試して見てはと思います。 例えば、空家がこれから増えて行きますので、若い人の住居にし、ほとんど無料に近い金額にすること。そして生活費等も補助すること。就職先を斡旋すること。例えば、トヨタ自動車等の会社を誘致できたらと思います。

⑤結婚促進策

回答数 = 2

独身お見合いパーティー等の企画
結婚祝い金、男性社員が多い会社と女性社員が多い会社の共同作業（ボランティア）を通じて出会いの場づくり

⑥子育て支援

回答数 = 7

子育て世代への支援強化（保育、医療、etc）・充実	・・・【意見数7】
子育て支援もしっかりしてるし、産み育てたい町としてのアピール。	
出産に対する支援。	
出産一時金、児童手当、塾・おけいこ・英語などはスキルのある若者が安価で教えられないのか（人材活用も兼ねる）、コミュニティづくり、イベント、グローバルに特化した学校（寮のある学校など）	
介護支援を充実させ、働きやすい環境を作る	
出産に関する支援、医療機関の充実	
子育て世代に対する施設の拡充（0才児からの保育施設等）	

⑦other

回答数 = 27

テーマパークやショッピング施設、スポーツ施設、娯楽施設の誘致・新設	・・・【意見数5】
物価対策	・・・【意見数2】
公共交通機関の充実	・・・【意見数2】
大学、短大、専門学校等の教育機関誘致	・・・【意見数2】
体験型の観光の充実	
衣食住の詳しい情報発信（就業できる状況や住む住宅等の情報、補助金等の情報）	
情報、通信環境の整備	
生産年齢人口を増やすためには、若い世代の方からの意見が必要だと思う。	
最近では”さとり世代”という世代が出現していることを考えると、自然に文化・医療・介護・教育・保育などが活気的で充実・安全な土地等の住みよさを一つのパッケージにして触れ込んでいくのも方法かと思います。	
自然が豊か食物もおいしい。三陸道の開通で道路事情もよくなった事をアピールしては？	
少子高齢化の現状を逆手に取った高齢者向けのサービス（たとえば、若い人が高齢者にパソコンやタブレット教室を開く）など、お金の流れを高齢者から若者に行き届ける事業をどんどん推し進めてはどうでしょうか。	
気仙沼のメリットデメリットの明確化	

「こういう方には気仙沼がおすすめ」ではなく「気仙沼市はこういう方がおすすめ」という宣伝方法の仕方
中途半端な事業ではなく、何かの特化した事業（日本一）を目指し、市も含めて若い人にたくさん挑戦させる。
<p>・医療施設の充実</p> <p>昨今、市立病院の統廃合が検討されているようですが、本当にそれでいいのか疑問に思います。診療する科目が少なすぎるように思います。個人病院が少ないように思えます。耳鼻咽喉科の専門医院ってあるのかな？ 転勤してきて、掛かりつけ医を探すのに苦労しました。</p> <p>住みやすく魅力ある街になれば、自ずと人は集まってくると思います。</p> <p>ここには良いところもいっぱいあります（食事は美味しい（でも高いなあ））。そのようなところは伸ばしていければいいと思います。</p> <p>今、IターンやJターンで戻ってきている人も多くいるように思います。また、転勤してきている人も多く住んでいると思います。そのような人たちに意見をきいて参考にするのも一計だと存じます。</p> <p>現在の魅力あるものは伸ばし、足りない部分を補ってあげれば、魅力ある街が出来ていくと思います。</p>
誰でも参加できる体験学習を多くしたらどうですか。昔に戻っていやしの島作り体験。
グループ単位での受け入れを行い孤独感を持たない環境を提供
生活環境の提供や金銭的補助
文化福祉施設（病院、野外活動も含）の拡充、楽しく生活できるように。

質問 1 4. 気仙沼のUターンの若者を増やすためにはどのようにしたら良いと思いますか。ご自由にお書きください。

① 移住者に関する施策

回答数 = 5

Uターン就職を約束し、大学、専門学校等での技術習得のための学びに対し奨学金を支給（Uターンした場合は返還不要）
Uターンより田舎に住みたい人を対象にした方がいいと思います。
当地出身の市外在住者の「リタイヤ後は故郷でノンビリ」支援。（夏だけ2ヶ月等のショートUターンでも良いのでは）
Uターン者への補助金の支給
給付型の（Uターンすれば）奨学金制度などがあればよいと思います。

② 魅力的なまちづくり

回答数 = 8

魅力的な仕事
若者が好きそうな施設やイベントを増やす
より魅力的なまちづくり
魅力ある街
幼いころから、気仙沼の魅力、産業、食など良さを知ってもらい取り組みにもっと力を入れるべきだと思う。1度は都会にあこがれ出たくなるが、良さを知っていれば帰ってくる。その時の仕事の選択肢も増やした方が良い。
子供からお年寄りまで安心安全で暮らしやすい街作りを目指す。
小さい頃から、地元の良さを分かってもらい（体験を通して）。自然、環境、まちのしごとなど。
①ストレスフリーな社会を作る（人、生活費、町の環境） ②自然環境の整備（休日に散歩に出かけたくなる山や海など） ③学校の授業で品の産業を学ぶ、又、授業の一環としてインターンシップを行う。

③ 仕事、職場、産業の創造、進化

回答数 = 67

賃金アップ	・・・【意見数 1 5】
働く場所・職種を増やす	・・・【意見数 1 6】
情報発信の強化（Uターンの若者及びその親世代への求人情報、若者の進学先が多い地域等での発信の場合）	・・・【意見数 4】
雇用の確保	・・・【意見数 3】
企業誘致	・・・【意見数 2】
若い人が働きたい、と思えるような魅力のある商店の立地。	
常に募集している企業が多くあると良いと思います。	
Uターン前の地域と同レベルの職場環境、待遇	
求職者目線でやりがいのある仕事を増やす、将来の生活設計が成り立つ待遇を担保する、一人当たりの給与を増やしながら固定費総額をマネジメントする、楽しそうに生活しているUターン・Jターンの若者の様子を発信する	
就職先を探す際のサイトなどを充実させる（ハローワークに行きづらい感がある）	
戻っても仕事が無いとよく聞きます。	

まずは企業を知ってもらう事が重要だとおもいます。
就職先・職種、都会との収入差の改善
女性が働きやすい働ける環境
一生勤められる仕事場（賃金の高い会社）を多くする。
まずは、働きたくなる職場を増やす、そしてアピール。また、今は、リモート勤務出来る企業もあるので、気仙沼の魅力発信（綺麗な海、美味しい魚、肉、マリンスポーツ等）
経験・能力が活かせる職業・職場があるといいと思います。
求人改善が必要。
各種軽減策（市・国）と労働者賃金の値上げに対する企業への補助金等の支援。
若者が働ける企業。 例（気仙沼産養食事業）
大きな商業施設
水産業以外に力を入れて働く場所を増やす。
働きたいと思わせる会社作り。なぜ気仙沼にもどらないのか聞いた所、働きたいと思う仕事がない。
魅力ある企業作り。
魅力的な会社（仕事）があること
若者が帰省したがってますが、良い仕事関係が少ない。 漁業関係が多く一般企業が少くないといわれる。
元気な企業がたくさんあること。
子供の頃から気仙沼の魅力や特色ある仕事について知ってもらう。
人生設計に即した賃金上昇カーブを設定・維持できる企業の増加、新規成長産業の育成・誘致、リモート勤務可能な企業への助成。
商業施設の充実化
何かの延長とかは意味がないと思う。安い給料で働いて、長い時間働いても結局出ていくお金が増えれば同じ。それであれば、負担軽減や無料化の事業をするべき。
内部保留も大事だが、経営者の意識の転換が必要。
すぐ効く良薬はない。小さな子供の時から町中あげて、笑顔と元気そして幸せな子供時代を送るよう官民一体となり、いっぱいいい思い出を作っておける。社会人になったとき時とは必ず壁にぶつかる時がある。やっぱり地元に戻りたいと思うのは、子供時代、いかに楽しかったか幸せだったかで決まる。まずは種まき。どんな会社もお店も小さくていい、何かしてほしい。
若い方々が、なぜ他県へ行ったのか。（学びに行き卒業後もその土地にそのまま住みたいと思ったり。）卒業後、地元に戻って働きたいと思えることが大事だと思います。それには、他県に行ってしまった方々にアピールするのも大切ですが、今、気仙沼で育てている子供たちに気仙沼の良いところを知ってもらう事もとても重要だと考えます。大人になって、今まで歩いて来た道を振り返ったとき「もう一度住みたい」と思える環境を作ることが、遠回りに見えるかもしれませんが大事だと思います。
気仙沼では高校を卒業するとなかなか地元に戻ってきません。根本的に魅力ある町作りをしないと駄目だと思います。それから将来若者が帰って来れるように補助し（大学の生活費等）、就職まで斡旋出来るようにすればよいと思います。

④住居対策

回答数 = 4

給料と親との同居がネックなのかなぁと思うので、こちらについても家賃補助や企業借り上げの公営住宅等があれば子育て費用に貯金出来たりもするのではないかなぁと思います。

住居の提供（有償）、住居補助金。

空き家の10年間低額貸付又は無料。

住宅、就職支援

⑤結婚促進策

回答数 = 1

独身者なら結婚しても不安なく生活できるような支援をもっとアピールしてもいいのではないのでしょうか。

⑥子育て支援

回答数 = 7

子育ての応援。

子育て助成金の拡充。

子供がいても働きやすい職場

子育てをしている人が働くなら企業にも助成する。

子育て世代にとっても土日休みの企業が少ないため働きづらい。

また、子育てはしやすいが、子供が遊べる施設が少ないためそういった施設や保育へ対しての設備が充実すればUターンも増えると思う。

子育てのしやすさ。楽しく暮らせるような、環境の整備。

気仙沼に帰ってきてても安心して生活していけると思えることが第一だと思います。子育て世代の人達なら、子育て支援の更なる拡充

子供支援を充実させる。

IターンJターン向けと同様、将来安心して子を産み育てられ楽しく生活できるように施策

⑦other

回答数 = 33

娯楽施設の充実（テーマパーク、海を生かしたレジャー、マリナー、スポーツ施設、映画館）

・・・【意見数8】

商業施設の充実（買い物、飲食）

・・・【意見数3】

活気、サークル、イベントなど人が集まるような体制作り。

そもそも1人自由な生活をして過ごした数年間を経て帰郷した者が、ご近所・親戚等のしがらみに縛られることを苦痛に感じる事が根本的な問題のようなので、その意識を変えるにはどうしたらよいか・・・悩みます

教育の重要性。人間力を育ててください。

田舎町の気仙沼に閉じ込め閉じ籠もるのでなく、気仙沼を拠点に世界と繋がり広がってゆくのだからというロマンの構築と、挑戦できる可能性を持った街にする。

経営者が明朗、愛和、喜働の実践をすれば良い

40歳までの新規事業主に補助金の増額

ポケットWI-FIの配布など

Uターンの若者はプライベート仕事両方で無制限に使える
通信回線を準備してあげると喜ぶと思います。

デジタル化の推進

若者が望む観光事業の支援や、開業の支援を手厚くする。

<p>都市間の競争の時代に入っているので、他の市町村の戦略、戦術を研究する必要がある。何があり、何が無いのか。（どんな街でもアンケートはやっているのではないか？）</p>
<p>高校生までの間に地域の大人と触れる機会を増やす。 子どもと大人が一緒になにかをするコミュニティの充実。</p>
<p>気仙沼の景観、海を利用したイベント、全国釣り大会、大島沖トロリング気仙沼⇄金華山往復ヨットレース、湾内納涼船運航（市外からの集客のため）定着者のために、休日、平日にも家族で利用できる、海山のレジャー施設の充実、夏場の夕食後に内湾で夕涼みの出来るオープンカフェ等</p>
<p>交通が不便、楽しめる所が少ないといった意見が出た。</p>
<p>文化に触れ、学生が気仙沼で過ごしている時に様々な行事に参加できる仕組み。高齢者が教育に関わる仕組み。</p>
<p>私は家庭の事情でUターンしましたが、通常のUターンでの若者を増やすことは、とても無理だと考えております。仕事、信金、結婚問題、教育問題、医療問題といったことを解決しなければならないと考えております。</p>
<p>公共支援の向上</p>
<p>若者同士のコミュニティ、楽しめる場所、専門学校や大学で学んだ事を活かせる場所</p>
<p>この所、〇〇法人とかNPO〇〇とか・・・若い人たちが頑張っている様子がありますが・・・どのような事を行っているかわからない・・・という声がかけられます・・・そのような資料があるのかもですが一市民にわかるような活動報告があればよいのでは？</p>
<p>店舗の閉店時間が早いので、もう少し延長してほしい</p>
<p>働き方改革に沿って休日を活かし、ストレス発散の時間を作れるようにする。</p>
<p>若い世代の方は、高校生活からアパートを希望するようですが、寮生活の楽しさ苦しさつらさも分かってくると自分の故郷を振りかえる気持ちができると思います。仕事について見ると、自分の必要性を振り返る思い出の道です。あまり贅沢しないで寮生活から育ててほしいです。立派になって故郷に戻る人も出てきます。</p>
<p>東京を真似して空いている土地、使っていない土地に娯楽を作る。 無理に東京に近づけない。</p>

質問15. 今後、10年、20年、30年後の気仙沼市の人口減少を見据えた場合、今すべき対策について、ご意見をお聞かせください。

①移住者に関する施策

回答数 = 8

海外からの移民の受け入れ、国際結婚推進都市
移住者の受け入れや子育て支援に手厚くする
Uターン支援金
新しい家族が移住できる環境
外国人技能実習生等を定住化し、家族も呼び込み定住する様、住宅等も整備する事。
若い世代だけではなく、高所得高齢者移住も視野にすべき
外国人のとりこみと帰化支援
Uターンに限らず、全国に向けて移住者を呼び込む情報発信を強化する

②魅力的なまちづくり

回答数 = 10

いろいろ負担増の世の中、その中で負担が他の町より優遇される(税金)町だと住んでる人も満足だし、移住者も増えるのではないかと。魅力を増やすのは大変だが今ある魅力の底上げする方がいいのでは。
若者から魅力のある街作り。
魅力的な場所を作る
若い人が住み良い街にすること以外ないと思います。
地域密着を考えた住み良い町づくりでアミューズメントを増やせば若者は流出せずに住むと思う。
今の気仙沼で暮らしている方々が、大変さより口々に気仙沼で暮らすことの楽しさを話せるような対策が重要かと思っています。
魅力ある町づくりが急務と考える。
魅力的な街作り
人口減少は全国的な傾向なので、個別的な対策としてはいかんともしがたいと思われる。魅力ある町づくり、行ってみたい町づくりにこそ、ヒントがあるのではないかと考えられます。
内外にむけた気仙沼の魅力を継続的に発信すること。

③仕事、職場、産業の創造、進化

回答数 = 31

企業誘致	・・・【意見数6】
外国人実習生や特定技能の受け入れ姿勢を見直すべきだと思います。外国人を怪訝そうに見る地元一般市民が多いと思います。	
企業の待遇改善	
特産業の推進	
業種・職種の充実	
水揚げが減ってきた漁業だけに頼らない街づくり	
水産業以外の産業を増やす(資源に限りがある為)	
地元の中小企業の魅力を発見、発信。	
経験・能力を活かせる職業・職場があるといいと思います。	
働く場の確保、水産業以外の産業の育成	
給与水準の向上に尽きると思います。	

各種軽減策（市・国）と労働者賃金の値上げに対する企業への補助金等の支援。
若い世代が働ける職場を増やす。
国や市が企業を守り、企業が社員を守る制度の確立。 育児休暇等、推進をしてはいるか、手続きや金銭的援助含め、もっと企業に対しての何かがあれば、企業は社員に対してプラスのアプローチが出来ると感じた。 また、各企業が、市内でのリクルートだけではなく、積極的に、市外でのリクルートをすることによって、若者が市内で生活をしてもらえるようにし、その若い人たちがワクワクする街づくりをしていきたい。
働く場を増やす施策。
地元高校生、大学生をできるだけ気仙沼市に就職するような施策を考えていく。
外国人（実習生含む）に適した食住環境の整備。 独自の一次産業（水産・加工等）の研究への投資。
先進的産業分野への優先的助成と誘致
業種の多様化
水産関係、建築関係以外の職場を増やすこと
公務員並みの給与
働ける場が多くなれば住みやすい気仙沼になると思います。
地元にいる若者の雇用も創出（地域おこし協力隊だけでなく、地元にいる若者にも就職先を。特にまちづくり関係や教育関係など）
働く場所の選択肢の豊富さ、安定を求めている方が多いと思います。「働き場所」「家賃等の補助」「収入の安定」などが上げられると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・転勤される方の調理実習 ・会社同士の交流会（ボーリング大会、バレーボール大会一体操一食事会など） ・他企業との交流会企画
各企業の受注高が低ければ、労働者が減少し、人の流れは働くメリットを前面に出している所へ流れてしまう。生産性が停滞している所に人は集まらないので、生産性の向上のための対策、働く環境の整備。
企業の存続のための中小企業支援

④住居対策

回答数 = 2

震災があって地元をどうにかしたいと戻って来た友人達がいるのを見ているので、市の新しいポリシーという方向性で行く方向性の決定が移住者やUターン者への魅力になるのかなと考えました。 公営住宅は昨年時点116の空きがあると知ったので、賃金が中央より安いのが否めないのならば、1番の支出であろう家、家賃補助や企業借り上げ住宅等を市と企業が連携して安く借りれば負担が減って家族を増やす意識も高まるのではないかなと漠然ではありますが思いました。
若い世代が移住・定住したくなる住宅取得

⑤結婚促進策

回答数 = 9

婚活の推進
結婚者の独身をなくす政策で、出会いの場の提供と参加費用負担（企業と会議所や市の折半）
安心して結婚、子供を産み育てられる環境の整備。病院、医療の整備。
結婚、出産を安心してできるような賃金の底上げ
安心して結婚出産育児のできる諸施策。
婚活支援と結婚や出産、子育てへの支援策
未婚の男女に楽しい出会いを提供して、結婚をすすめる。
出会いの場の提供

婚活、活動に精一杯力を入れたほうがいいと思います。

⑥子育て支援

回答数 = 27

子育て支援の強化	・・・【意見数4】
子供が増える為の施策。 育てやすい環境作り。	
国など公共機関の子育て補助金の充実。	
経済的にも安心して子供を産めるように、経済的な支援の拡充	
子育て環境の充実 無料託児所などを設置し子どもを持って働きやすい環境 シングルマザーのシェアハウス（都会のシングルマザーが移住し子育てをする）	
子育て世帯へ、月々助成金を増やし、育てやすいまちにする	
子どもたちが安心して遊べる場所を増やす 市営住宅の無期限貸し出し（子育て世代には比較的安価に） 出産から高校卒業までの金額負担をさらに軽くする	
子供の医療費・教育費全額免除。	
結婚出産育児に関しての手当てを増やす。子供のいる家庭への各種減税	
安心して子育てができる病院・学校（大学・専門学校）。 気仙沼は賃金が低い。物価が高い。	
出産祝い金の増額 子供手当も5倍くらいにする。将来回収する税金を考えると今の手当は少ないと思う	
出産への支援。	
子育てが楽しいと思えるような地域の温かい目 子供を安心して遊ばせる場所が少ない（特に室内）	
子育てしやすい環境を整える。	
子育てしやすい街にする。	
子育て世代を今から支援しておかないと収入・医療・教育面、他の市町村よりかなり遅れていると思います。	
出生数の増加、出産・保育サービスの充実。	
若者、子育て世代に優先的に公営住宅の提供。 保育料や保険料、教育費の無償化。 女性が安心して働き続け子育てができる社会。	
出産、子育て、教育の充実	
子作り	
出産、育児支援を充実させ、子供を育てやすい環境を作る。	
若い人達の子育てしやすい環境をつくること	
・子ども出生時に100万円等 ・子育て中は医療費、給食費免除（親も子も） ・学費免除	
子供の医療費、学費免除	

⑦other

回答数 = 50

大学（技術系大学）、短大、各種専門学校の誘致。	・・・【意見数5】
交通の便を良くする	・・・【意見数3】
気仙沼市だけ唯一オンライン投票できる自治体にする	
気仙沼市役所 各課長の方々に事業提案していますが、前例のない事には返答がない	
医療・介護施設や若者が楽しめる施設の充実	
教育者の人間力を高めてください。志の高い若者を育てるための教育が重要だと考えます。気仙沼に限ったことではありませんが。	
人口減少を止めることは難しいと思います 観光地の活性化、隣県からの人の流れや観光客の増加が課題	
若者の意見を聴く。	
若い世代からの意見を聴く機会を増やすことが必要	
これからの若者との価値観のギャップをいかに縮められるか	
社会貢献や志を持った人を育てる教育が重要。 そのために教育者の人間力を鍛えることが必要。 失敗を経験することで失敗に負けない人間が育つと思うので、競争したり、目標のハードルをあげるのも可。 そうして育った若者が、気仙沼を魅力的な町に造っていきと思います。	
病院・施設の充実。	
スマートシティ構想(リモートワーク、買い物難民解消)	
漁業第1から脱却	
お年寄り生活しやすい市を目指す = 若者が安心して市にとどまる。	
複合商業施設を作る	
①災害の体験は最も重要な「資産」である ②自然との共生を目標にすべきだ！（学ぶ為のノウハウを組織的に事業展開する）	
地元のお金を地元で廻す地域循環型の工夫をすること。他地域の成功例を取り入れること。人口増加のモデルになる⇒（千葉県流山市等）	
既存の向洋高校、本吉響高校、気仙沼高校に3年終了後に学べる専修科（1～2年）を設け、それと同時にその修了生を受け入れる企業を誘致する。向洋高校には海洋レジャー専修科、響高校には農芸環境科、気高にはITその他の科を。	
学生が闊歩する街を（各種学校、研究所、研修所、合宿所、保養所）。「気仙沼」を冠した全国規模のスポーツイベント、文化イベント、食イベントの開催（フェンシング気仙沼CUP、気仙沼寿司職人コンテスト）	
気仙沼は車社会ではあるが、若い世代の車離れ、お年寄りの免許返納にともない、交通機関を改善しなければ減少していくと思われます。都会では、年間3,000円で高齢者はバスは乗り放題などがあります。入口は増加すればBRTなどの便も増やせる。又は、都市を集中させ歩ける距離で市役所、病院、スーパー、銀行を集約。	
市政策の本気度が必要。子育てしやすい街づくり、海に特化しない政策の提唱。	
経験ある高齢者と若者交流（漬物の作り方、野菜の育て方などを教えて、やりがい、生きがいをお互いに作ってはどうですか？）	
あらゆる対策をやりながら、将来の人口減少に向けて、身の丈にあったことをしつつ、できるだけ先延ばし続けて終息に向かっていくしかないと考えております。	
今やどこの自治体も同じ少子高齢化という問題に直面しています。若い人口が有限な以上「若者の取り込み」が最も大事な課題だと思います。故に全国にも類を見ないぐらいの取組みをして、どんどん全国へアピールしていったらどうでしょうか。	
一次産業のイメージ、所得UP	
プロパンガスが高すぎる。灯油代がかかりすぎる。魚の内臓からのバイオマス事業、上水道の導水管を利用した	

マイクロ水力発電（株式会社DK-Power）などの事業の推進。
気仙沼で生まれ育ちみんな他県に行く。働く所が少ない！！ 近くでは佐沼のような小さな少なさ。一般の会社を増やしたい！！ 若者が生活できる明るい町になればよい。
みんなが使用できる大きな公園、ドックラン。 お金がかからず過ごせる場所。
病院・介護施設を良くする（受け入れ対応を多く）
若者の定着
進学・就職を控える高校生や若い世代の方々に対してアンケートを実施し、課題発見・解決に努める。
教育機関を誘致することが必要だと思います。秋田や盛岡などの地方都市を訪れると、繁華街に活気を感じます。その理由は若者が多く参加していることにあると思います。例に挙げた秋田や盛岡には専門学校や大学など若者を供給する教育機関が多くありますが、気仙沼にはあまり多くありません。山形県鶴岡市には慶應義塾大学の鶴岡タウンキャンパスがあると聞きますし、気仙沼も「早稲田大学」など高等教育機関を誘致してくるというアイデアはいかがでしょうか。
気仙沼ほっこり湯が再開しますが、若い人（に限りませんが）たちが楽しめる娯楽施設の産業が必要です。→住んで楽しめる町！「気仙沼には何も無い！」この言葉はよく聞かれます。
教育機関（高校以降）を増やし、市外、県外からも人を呼び込む場所を作る。
この内容に関しては、私達（30代や40代）に聞くよりも、無限の未来がある小学生、中学生、高校生、これからかなりの確率で気仙沼を出ていく人たちに問いかけてみてはどうでしょうか？現在の子供たちは下手な大人より世の中をリアルに見えていると思います。私たちは10年、20年、30年現状以上のものを作り上げていく（社会）事でいっぱい、気仙沼の事を思っている以上に考えている事は少ないと思います。志津川高校のペヤングコラボや向洋高校の缶詰など、とても素晴らしい感動をもらっています。若い人達の意見を大人の事情でNGにするのではなく、本気でやってみただけでやれば若い子たちは、一度経験できるかもしれないが、気仙沼に戻ってきて事業を始めるかもしれません。大人が何十年も考えても人口減少がおさまらないなら、本当に一度未来ある子供達と一緒に話してみてもどうでしょうか？とても面白い事業ができるかもしれませんよ。
スポーツ関連施設の整備（片浜地区に新野球場、陸上グラウンド等を新設）各スポーツ大会を開催し多くの方々に多方面から来ていただけるようにすれば観光とかにもつながると思う。
河川敷を整備し、自由に使える運動、遊び、散歩コース等の施設。 芝生、木々、ベンチなどがある広い公園。
今後気仙沼は必ず人口が減少すると見据えたら必ず減る。人口減と相まって、体力のある中央資本の大型量販店やチェーン店での限度のない販売で地元商店等は消滅の道をたどるだろう。要するに地域の商工業が元気にならない限り人口は増えない。学校の統廃合で親はこの街で子育て教育をしたいと思わない。特色ある教育、驚くほど偏差値が高いとか、全校低学年からスポーツに力を入れるとか又ハード面で何かをやるのではなく、ソフト面で世界一の人間愛の満ちた町、家族愛、笑顔タウンの設立等、他を見ないまちづくりを真剣にかんがえるべき。今年2月にコロナ対策とふるさと納税100億達成のパフォーマンスを市長宛てに提案したのですが、回答書の内容はとても納得のいくものではない。
議員、首長、公務員の意識改革。地元意識の欠如がみられる。
効率（経済）第一の病院学校の統廃合をしないで、身近に維持。老人も子ども歩いての行動できる社会
SNSの有効活用 特産品とかの宣伝 どれだけ話題を作れるか
近隣の市町村より人を集める策を功じること。 今はイベントにしても負けていると思います。気仙沼しかできない行事を作ってください。（小さなイベントは、かえってやらないほうがいい）

質問 16. 人口減少対策をめぐる法制度や行政サービス、気仙沼商工会議所の事業やサービスに関して、ご意見やご要望などがございましたらご記入ください。

① 移住者に関する施策

回答数 = 5

新たに気仙沼に来る人にとっては情報が散乱していてわかりづらいかも？
お試し移住をもっと海外に告知し認知度をあげる。
移住者に住宅取得の為の補助事業300万円～400万円を支給
Uターン経験者として情報が少ない
気仙沼市は自然の豊かさ、食べ物の美味しさ、住民の地域性など多くの魅力がある。観光資源も豊かだと思う。震災をきっかけに唐桑を始め多くの移住者が市に来てくれてはいるが、そこをきっかけに市や商工会議所がもっと力を入れて移住・定住者を増やす取り組みに繋げて欲しい。ふるさと納税にももっと力を入れて、その税収をこのような支援策に使って欲しい。

② 魅力的なまちづくり

回答数 = 3

気仙沼に住みたい、と思わせるような話題作り、イメージ作り。
一生安心して生活できる環境作り
これ以上、市外へ転出が少なくなるように若者主体の町づくりを期待しております。

③ 仕事、職場、産業の創造、進化

回答数 = 7

Iターン、Jターン、Uターンも必要ではあるが、新規学卒者が多く地元で就職できる地域（環境）をつくることが必要なのではと感じます。
気仙沼市をドラマ、映画、アニメ、ゲームの舞台とし聖地化とする。その為の支援補助事業及び上記にかかわる制作会社の誘致。
気仙沼の企業の分かりやすい検索、紹介（ホームページ、SNSなど）
高齢者が無理なく働ける場を創出して欲しい。
各種軽減策（市・国）と労働者賃金の値上げに対する企業への補助金等の支援。
地場産業の振興支援、企業誘致。バランスのとれた並立施策。
第一次産業従事者に対する賃金の補助。 国、県、市一体化推進。

④ 住居対策

回答数 = 1

空家を取得してリフォームする場合にも相応に支給

⑤ 結婚促進策

回答数 = 2

出会いや機会を増やすということではないでしょうか。 例えるなら、垣根を超えた各事業所で働く従業員の交流というのも効果的だと思います。
商工会議所女性部の方々を力にして、婚活活動の世話もお願いします。企業講習も大事ですが、コミュニケーションが生まれるような独身の方々が参加できるような講話がありますようにお願いします。

⑥子育て支援

回答数 = 1

出産子育てにも助成金支給、至れり尽くせりの支援をする←年度別に予算枠を決めて行う。

⑦other

回答数 = 28

提案・話し合う場を設けてもらいたい。
行政サービス等、前例にこだわりすぎて、時代に追いついていないように見えます。
末端会員の発言の機会を増やし、参加し、関わり、顔の見える、血の通った組織活動や組織構造にして欲しい。
倫理法人会のモーニングセミナーの参加を促して頂き、朝から元気に活力ある会社づくりをする
2021年は「おかえりモネ」で盛り上がりましたが、同年映画作品「護られなかった者たち」、「99.9」と気仙沼を舞台とした作品がありました。「護られなかった者たち」は震災後を舞台とした作品、「99.9」はリアス気仙沼大使の木村ひさし監督の作品ですがこちらの2作品はあまりピックアップされていなかった気がします。この2作品ももっと取り上げるべきではなかったでしょうか？ドラマやアニメでまちおこしている市町村をもっと見るべきだと思います。作品から移住を考える人も少なくないと思います。今後のために気仙沼をもっと見るべきではないでしょうか？
待ったなしなので、早急な企画をスピード感を持ち沢山実行していくこと。
人口減少の課題がまだまだ優先順位が低いと感じます。これだけ日本や地方のとりまく環境が変化していく中で、昔ながら組織や商売方法が成り立つとは考えにくいので何か意識を改革する仕組みをお願いしたいです。
意見を受容し（市民・会員）で共に考える姿勢。 ボトムアップ型の思考が必要。
30歳位まで、所得税や、住民税を出来るだけ安くして使えるお金を増やしてあげる
時代は刻々と変化し、そのスピードは加速しているのに法制度や行政サービスは旧態依然としていることに憂えています。 慣例や前例に縛られすぎているのでは？もっと、若い人や女性の意見を取り入れれば、必ず道は拓けると思います。頑張ってください。
医療費だけでなく、子供にかかるお金（小、中、高でかかる教材費）全般の無償又は補助等の施策 私自身8歳、6歳、4歳の3人の子育て中ですが、長男が小学校に入ってから思っていた以上にお金がかかり始めています。今後2番目3番目の子が小学校に順番に入学していくことを考えると、今から不安になり始めています。このお金の心配が少なくなるのなら、もう一人、二人の出産も考えられるのにと、妻と話しています。ただ、現状ではやはりお金の不安が付きまとうので、子供は3人で終わりかなと思います。 妻の年齢を考えた場合、1、2年以内に大幅にお金の心配が軽減されるならば、4人目も考えられると思います。当社には高校新卒入社が3名（男1人、女2人）おります。私が入社した当時より最低賃金が上がっているのに、金額的には増えて見えますが、社保等の控除金額も増えているので手取りの収入は変わっていないように感じます。この収入で、将来的に結婚、出産を考えられるのかと親心ではないですが心配です。 また、前項でも少し書きましたが、子供を安心して遊ばせることが出来る場所が少ないと感じます。特に雨や冬の季節に室内で遊ばせる場所が全くないと感じます。民間の施設であるにはありますが、3人連れて行った場合には、結構な料金がかかるので、休みの度にとはいきません。ケーウエーブのトランポリンにもたまに行きますが、無料で利用できますが30分だけという時間制限があるので、子供にとっては不完全燃焼な時間です。
制度やサービスを、分かりやすく提示してほしい。
行政サービスをもっと市民に分かりやすく知らせる方法
目標を定める時間割を作る→責任者を決める、予算を与える、正しく評価する。
若い人達が楽しみに出来るイベントなどを開催する。
市内各種企業対抗、手漕ぎ舟レース（夏場）、球技大会、スポーツ大会。特に気仙沼のフェンシングは全国的に認知されているので全国大会を気仙沼で開催する（気仙沼フェンシング甲子園）
元気なお年寄りの表彰。子供一人生まれる度に何かプレゼントする。
・復興状況、住んでいる者として結構楽しく生活しているがアピールが足りないと感じる（いつまでも不便な生活をしていると思われているのでは？） ・イベントやキャンペーンの告知の広げ方の工夫(不足？伝わりが弱い？)

人口を増やしている他の町の施策を参考に、気仙沼独自の方法を研究して、人口減少に歯止めを掛けるようにすることが急務と思う。

会費を安くし、何かサービスを使用する時々にあわせてお金を払うシステムも有りと思う。

国籍を限定した人口減少対策が成功した事例は世界的に見てありません、目的が人口増だけであれば国籍にとらわれる必要はございませんし、税金まで考えるのであれば帰化事業まで念頭に入れた対策が必要かと考えます。

- ・単発的ではなく、永続的（18歳までとか）な補助か助成
- ・実行委員会、協議会を設ける際に次世代を担う年齢を中心にして、それより上世代はサポートやフォロー役を担ってほしい（舌先三寸以外の人）

このままでは何も変わらないと思う。

質問11の各施設のPRと予算の拡充。

行政サービス等、もっと発信してほしいです。

一般市民の方を向いた支援策、補助の充実

今までの踏襲ではなく、柔軟にやれることを探って欲しい。